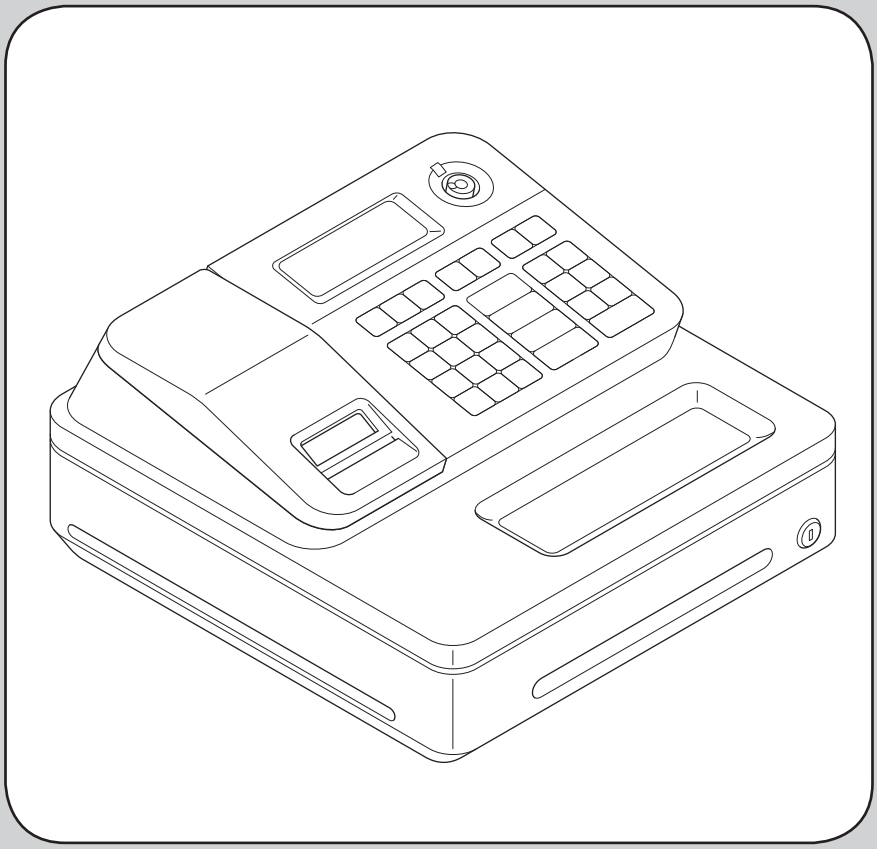
CASIO

取扱説明書

カシオ電子レジスター
SE-G2



このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

最新サポート情報（Q&A、取扱説明書など）はこちら

http://casio.jp/support/ecr/

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置手順**（12 ～ 20 ページ）と**初めてレジをお使いになる方へ**（21 ～ 24 ページ）をご覧ください。

特長

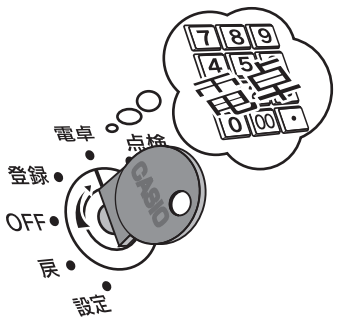
● 税率は変更することができます。予約機能を使うと、指定した日から自動で税率が更新されます。

「消費税率の設定」（19 ページ）
「税率改定の予約機能を設定する」（52 ページ）

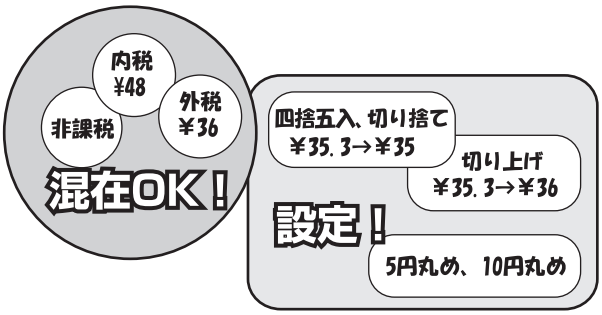


● 「消費税改定によって税込価格がいくらになるか」を簡単なキー操作で求めたり、レジ打ちの最中に割り勘の金額を計算したり、お店の業務をサポートします。

「電卓機能の使い方」（43 ページ）



● 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」「複数税率」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切り上げ、切り捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5 円丸め、10 円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



● 抗菌処理されたキーボードで清潔に保つことが可能です。

SIAA
ISO22196
for KOHKIN
無機抗菌剤・練込
置数キー・キーキャップ

SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意 5
　お願い（必ず守ってください） 7
各部の名称と働き 8
　各部の名称 8
　モードスイッチとモード鍵 9
　キーボード 9
　表示窓／客用背面表示 11
お使いになる前に 12
　設置手順 12
　レシートの印字 18
　消費税率について 19
　課税方式について 19
　レシートとジャーナルの説明 20
　落下防止用フックの取り付け 20
初めてレジをお使いになる方へ 21
　電卓の操作と何が違うの？ 21
　よく使うキーは何？ 23
　精算と点検について 24
一日の仕事の流れ 25

使い方

基本的な操作 26
　商品１つを売上登録する 26
　商品２品以上を売り上げる 27
　同じ商品を複数売り上げる（乗算登録） 27
　同じ商品を複数売り上げる（リピート登録） 28
　両替などでドロアーを開ける 28
　レシート・ジャーナルの見方 29
キー操作をまちがえたとき 30
　部門・取引キーを押す前の訂正（置数訂正 AC C） 30
　部門キーを押した直後の訂正（直前訂正 訂正） 31
返品処理をする 32
　売り上げた商品を返品する 32
閉店後の操作～精算 33
　一日の売上を打ち出す 33

便利な使い方

部門の便利な使い方 34
　部門について 34
　単価設定した部門キーで商品を売り上げる 35
値引きをする 36
　－ で値引きをする 36
　合計の 10 円未満を自動値引きする
　（5 円丸め／ 10 円丸め） 36
割引きをする 37
　商品ごとに割引きをする 37
　合計金額から割引きをする 37
番号を印字する／日時の表示 38
　伝票番号や商品コードを印字する 38
　時刻および日付を表示する 38
入金処理と出金処理 39
　売上とは関係ない現金をドロアーに入れる 39
　売上とは関係ない現金をドロアーから出す 39
商品券の売上 40
　商品券で売り上げる 40
売上の点検 41
　現時点での売上合計と現金在高を確認する 41
　日計明細を確認する 41
　部分累計を確認する 41
売上の精算 42
　一日の売上を精算する（日計明細の精算） 42
　部分累計の集計内容を精算する 42
電卓機能の使い方 43
　税抜き金額・税額を計算する 43
　% を使って計算する 44
　消費税改定による新単価を計算する 44
　呼び出し機能を使って計算する 45

設定の仕方

時刻と日付の設定 46
　時刻を設定する 46
　日付を設定する 46
単価・割引き率の設定 47
　商品単価を部門キーに設定する 47
　割引き率を % に設定する 47
丸めの設定 48
　５円丸め／ 10 円丸めを設定する 48
課税方式（内税／外税／複数税率／非課税）の設定 49
　内税／非課税／複数税率／外税を混在して設定する 49
　課税方式の一括設定 50
　すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター） 50
消費税率の設定 51
　現在の税率を確認する 51
　すぐに税率を変更する 51
　税率改定の予約機能を設定する 52
　税率改定の予約機能を無効にする 52
　複数税率への対応 53
　課税方式の予約機能を設定する 53
　単価の予約機能を設定する 54
　税予約項目の設定 55
税シンボルの設定 56
　税 1 内税シンボル「内」・税 1 外税シンボル「外」を
　印字する 56
　非課税シンボル「非」を印字しない 56
レシートへの切り替え・印字の設定 57
　レシート／ジャーナルを切り替える 57
　レシート（ジャーナル）上の時刻を印字しない 57
商品名の設定 58
　部門キーに商品分類名を設定する 58
ロゴメッセージの設定 59
　レシートの頭にロゴメッセージを設定する 59
　レシートの頭にロゴメッセージを印字する 65
　レシートメッセージを印字しない 65
事業者登録番号の設定 66
その他の設定 67
　消費税額の円未満の端数処理を設定する 67

もくじ

消費税関連の印字／非印字を設定する 68
ジャーナル／レシートの切り替えと印字制御を設定する 69
一連番号／単品値引きなどを設定する 70
点検／精算レポートの印字制御を設定する 70
電卓モードの機能を設定する 71
%計算の端数処理を設定する／ [%] を割増しキーに変更する 71
部門キーに単品現金売りを設定する 72
部門キーに入力桁制限を設定する 72
部門キーに負単価を設定する 72

こんなときは

故障かなと思ったら 73
こんなときには 73
ドロアーが開かなくなったとき 73
正しく動作しないとき 74
レジ設定内容の確認 75
設定内容を確認する 75
消耗品の交換 76
電池を交換する 76
ロールペーパーを交換する（ジャーナル） 77
ロールペーパーを交換する（レシート） 78
仕様 79
保証規定 80
用語集 81

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。


△ 記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。左の例は「手を挟まれないよう注意」です。


⃠ 記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。左の例は「分解禁止」です


● 記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は ❗ で表わします。

⚠ 警告

電源コードや電源プラグについて




・電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品の下を通る配線はしないでください。
・電源コードを巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
・電源コードが傷んだら（芯線の露出／断線など）、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

分解・改造しないでください



本製品を分解･改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

内部に異物や水などを入れないでください




・本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。
・異物や水などが本製品の内部に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

異常状態で使用しないでください



発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

電源・電圧について



・表示された電源電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
・電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

本製品を落としたり、破損したときは



本製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意	
設置場所について	
	・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。 ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。 ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因になります。 ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。 ・電源コードを製品や壁や棚の間にはさみ込んだり、電源コードの上に重い物を載せないでください。
移動する場合は	
	本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
本製品の上には物を置かないでください	
	・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。 ・タバコなど高温の物を置かないでください。 ・重い物を置かないでください。
電源プラグはいつもきれいに	
	電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。
電源プラグを抜くときは	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
長期間使用しないときは	
	連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
ドロアー（引き出し）の注意	
	・ドロアー（引き出し）を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。 ・ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。
消耗品交換時の注意	
 手を挟まれないよう注意  指のケガに注意 	・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。 ・記録紙の交換時に手を挟まれないよう注意してください。また、指のケガにも注意してください。 ・プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガ、やけどの原因となります。 ・使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

安全上のご注意

お願い（必ず守ってください）

・温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
・ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
・清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使用しないでください。本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
・１日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。

設置場所について

高温になる場所、ホコリの多い場所、油煙や水がかかる場所に置かないでください。
以下の場所では絶対に保管・放置しないでください。メモリ内容が消えるなど本装置の故障、ケースの変形などの原因となります。

・0℃以下の低温下
・夏季の車内
・冷暖房装置の近く
・直射日光の当たる場所
・その他 40℃以上の高温になる場所

以下の場所では本製品の使用を避けてください。

・屋外
・レンジ、電熱器などの高温になる機器の近く
・水気や水蒸気のかかる可能性のある場所
・温度、湿度などの環境の変化が激しい場所
・腐食性のガスや塩分の発生する場所
・塵やホコリが発生する場所
・振動のある場所
・静電気が発生しやすい場所

あらかじめご承知いただきたいこと

・本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
・本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
・本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
・本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
・ウエルドラインについて
外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

電波障害自主規制

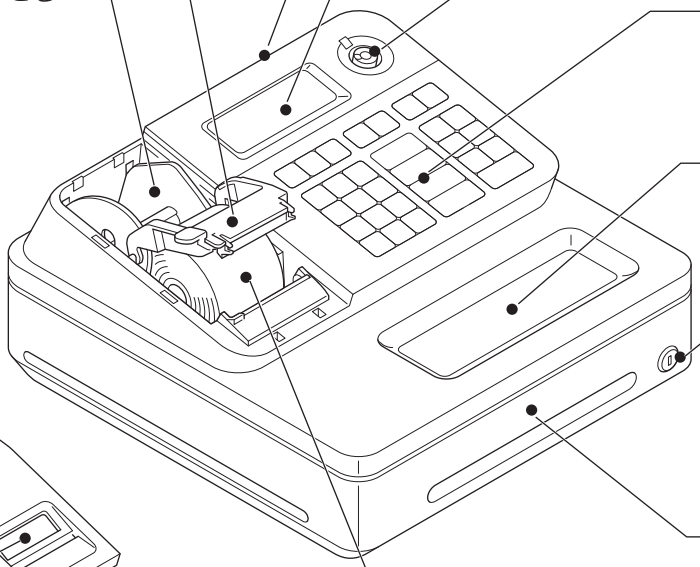
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱ってください。

高調波電流規格

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

各部の名称と働き

各部の名称



紙押さえ
カチッとロックされるまで、きちんと閉じてお使いください。完全に閉じていないと印字が行われず、レジスターが動作しません。

ジャーナル巻き取りホルダー
印字された用紙を「営業記録」としてお店に保管しておくときに使用します。

プリンターカバー
プリンター部を覆うためのカバーです。

印字確認窓
ジャーナルとしてお使いの場合、この窓から操作内容を確認することができます。

客用背面表示

表示窓

モードスイッチ

キーボード

多目的トレー

ドロアーロック錠

ドロアー（引き出し）

ロールペーパー
金額や操作内容を印字する用紙です。

各部の名称と働き

本書での記載例➡ モードスイッチの位置 登録

ポイント **本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を絵表示で掲載しています。この絵表示は、そのページで説明している操作をするときのモードスイッチの位置を示しています。右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」にしてから操作することを意味しています。**

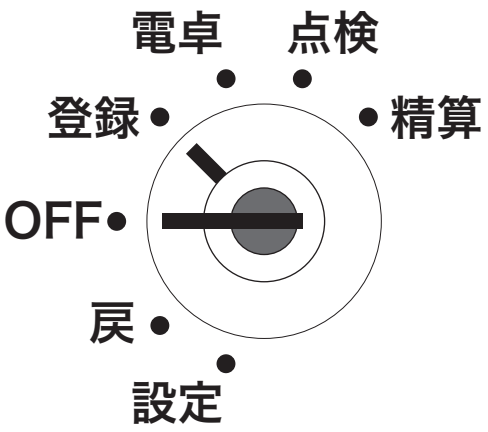
モードスイッチとモード鍵

付属の「モード鍵」で、モードスイッチ（レジスターの働き）を切り替えます。モード鍵はすべての位置に回せますが、抜き差しできる位置は「登録」と「OFF」の 2 箇所だけです。

モード鍵



モードスイッチ



「精算」……売上の精算を行なうとき
「点検」……売上の点検を行なうとき
「電卓」……レジを電卓として使用するとき
「登録」……売上の登録を行なうとき
「OFF」……レジを使用しないとき
「 戻 」……返品（戻し）を行なうとき
「設定」……お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

キーボード



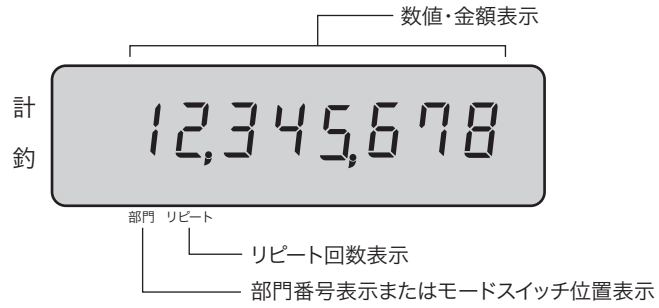
各部の名称と働き

紙送り	**紙送りキー**	印字用紙を空送りします。
×/日時	**乗算／日時キー**	乗算登録、または時刻・日付を表示するときに押します。
AC C	**クリアキー**	数値の入力をまちがえたときに押します。 電卓機能のときは、「オールクリア」(ゴハサン)の働きになります。
1 ～ 9、0、00、•	**置数キー**	数値を入力します。
訂正	**訂正キー**	直前訂正のときに押します。
—	**マイナスキー**	値引きのときに押します。
%	**割引きキー**	割引きのときに押します。
強制解除	**強制解除キー**	2 回続けて押すとエラーを強制的に解除します。「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。
入金 CAL	**入金キー**	入金のときに押します。 電卓機能のときは、呼び出しキーになります。
出金	**出金キー**	出金のときに押します。
#/替	**番号印字／両替キー**	両替をするとき（ドロアーを開けるとき)、または番号印字をするときに押します。
券	**券売りキー**	券売りでの売上のときに押します。
小計	**小計キー**	登録金額の合計（中間合計）を見るときに押します。
現/= 預	**現金売り／預かり金キー**	登録の完了（現金での売上)、および預かり金のときに押します。 電卓機能のときは、「＝」になります。
+ 1　− 2　× 3　÷ 4	**部門キー**	個々の商品を登録するときに押します。 電卓機能のときは、「＋」「−」「×」「÷」の計算命令キーになります。

各部の名称と働き

表示窓／客用背面表示

表示窓



客用背面表示



数値・金額表示
登録金額や数量、合計金額、お釣り、および日付、時刻などが表示されます。
電卓機能のときは計算数値が表示されます。

合計／お釣り表示
合計金額、またはお釣り金額のとき、それぞれのシンボル（ n u ）が表示されます。

リピート回数表示
リピート回数が１桁表示されます。

部門番号表示・モードスイッチ位置表示
モードスイッチを切り替えたときは、その状態が表示されます。

n ：モードスイッチが「点検」のとき

u ：モードスイッチが「精算」のとき

- ：モードスイッチが「戻」のとき

P ：モードスイッチが「設定」のとき

C ：モードスイッチが「電卓」のとき

モードスイッチが「登録」のときは、部門番号（1 ～4）が表示されます。

ここには次のシンボルも表示されます。

E ：エラーのとき

L ：電池の容量が少なくなったとき

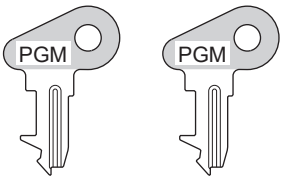
お使いになる前に

設置手順

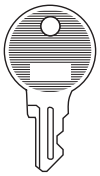
ここでは、レジ本体の設置や電池のセットや日付の設定など、初めてご使用になるときの準備作業について記載しています。手順に沿って作業してください。完了すると使用できる状態になります。

1 梱包箱の中から、本機を含むすべての付属品を取り出します。
袋の中から付属品を取り出し、すべてそろっているかを確認します。

モード鍵：２本

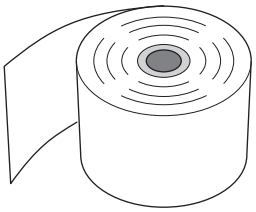


ドロアー鍵：１本

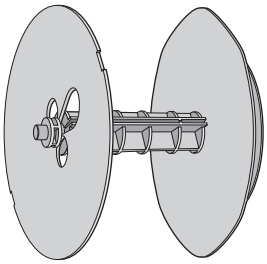


（ドロアーをロックする鍵です）

ロールペーパー：１個

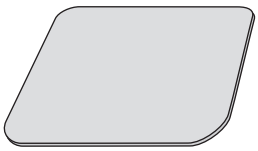


ジャーナル巻き取りホルダー



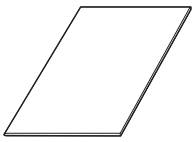
レジ本体のプリンタカバー内にセットされています。

検銭板

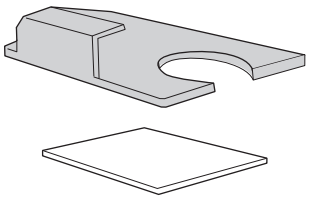


お客様からお預かりした紙幣を、マグネットで挟んで留めておくために使います。接着面の汚れをよく拭き取り、ケガをしないように注意して貼り付けてください。

取扱説明書類



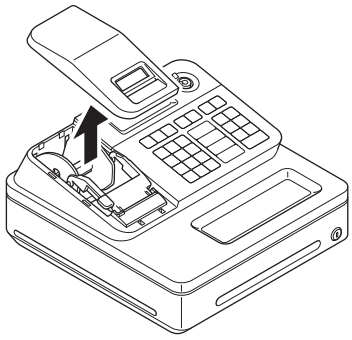
落下防止用フックおよび
貼付用両面テープ



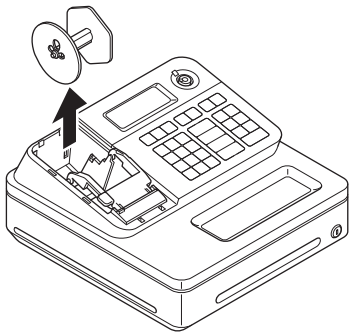
2 本機を平らな設置場所に置きます。
※電源プラグはコンセントに差し込まないでください。
電源プラグを差し込むと自動でガイダンスが印字されます。ロールペーパーをセットしてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。（手順 **5** の操作です）

3 別売りのアルカリ乾電池（単３形２本）をセットします。本製品に電池は付属していません。新しい単３形アルカリ乾電池２本を用意してください

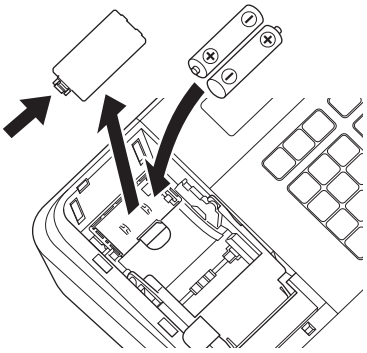
3-1 プリンターカバーを開けます。



3-2 ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。



3-3 電池ボックスのフタのつまみを、矢印の方向に押して取り外します。新しい電池の⊕⊖の向きがイラストと同じになるようセットします。



3-4 電池ボックスのフタを、取り外しと逆の手順で取り付けます。

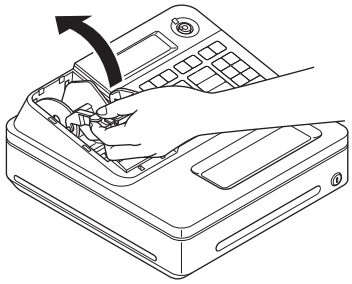
ポイント **乾電池は、停電や電源プラグが抜けたときに時計や営業記録を保持するためのものです。乾電池がセットされていない状態で電源プラグが抜けると、レジ本体はご購入時の状態に戻ります。乾電池は常にセットしてください。**

電池についてのご注意
●電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。 ●長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。 ●使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。 ●乾電池には使用推奨期限があります。この期間に注意を払ってお使いください。

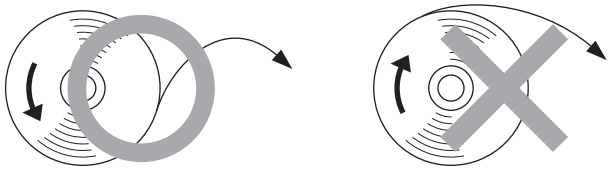
4 ロールペーパー（印字用ロール紙）をセットします。

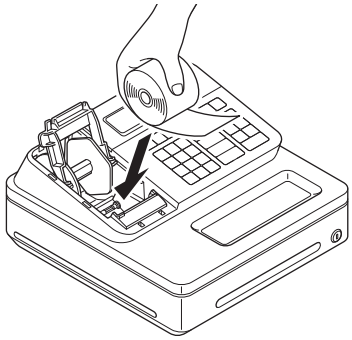
※ロールペーパーへ印字します。必ずセットしてください。
セットしないと設定作業が完了しないためレジをご使用になれません。

4-1 紙押さえを持って引き上げます。

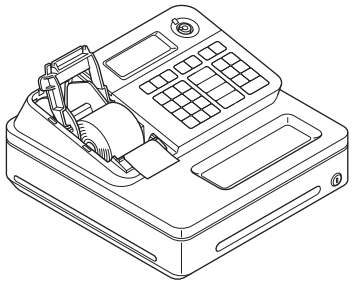


4-2 ロールペーパーの先端がペーパー入れから出るよう、手前側にセットします。

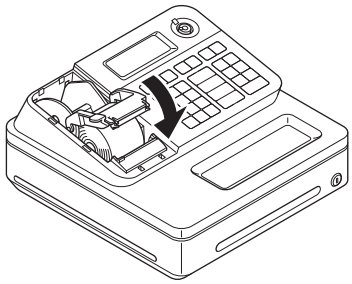




4-3 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。

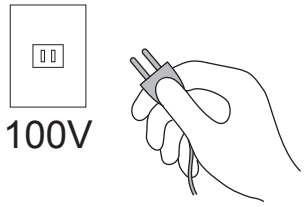


4-4 紙押さえでロールペーパーを挟み、カチッと鳴るまで押し込んで閉じます。紙押さえの真中を押して、左右のロックを確認します。
紙押さえから出ているペーパーは切り取ってください。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
印字されたガイダンスに従って、日付／時刻を設定します。

5-1 電源プラグをコンセントに差し込みます。



5-2 日付入力のガイダンスが印字されます。

日付の設定を行ないます。
点滅している桁に、
西暦の 10 の位の値を入力してください。
以降、順に点滅している桁に、西暦の 1 の位の値
月の 10 の位、1 の位の値
日の 10 の位、1 の位の値
を入力してください。

入力した値を変更したい場合は、<C>ｷｰを押すことで 1 桁づつ前に戻せますので変更したい箇所から再入力してください。

5-3 印字を参照して日付を入力します。
・ 点滅している場所に、それぞれ年、月、日を入力します。
・ 年、月、日の順に 2 桁ずつ入力します。
修正するときは、[AC C] を押して 1 つ前の入力に戻り、入力し直してください。

日付の入力が終わると、自動で時刻入力のガイダンスが印字されます。

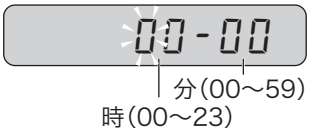


5-4 時刻入力のガイダンスが印字されます。

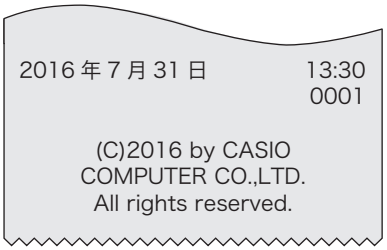
時刻の設定を行ないます。
点滅している桁に、
時の 10 の位の値を入力してください。
以降、順に点滅している桁に、時の 1 の位の値、
分の 10 の位、1 の位の値
を入力してください。

入力値を変更については、日付入力と同様に行ってください。
入力がすべて終了すると、設定した日付と時刻が印字されます。

5-5 印字を参照して時刻を入力します。
・ 点滅している場所に、それぞれ時、分を入力します。
・ 時、分の順に 2 桁ずつ入力します。
修正するときは、[強制解除] を 2 回押して年から入力し直してください。先頭で [AC C] を押すと、日付入力に戻ります。



5-6 設定した日付と時刻が印字され、表示が消灯します。
印字された日付と時刻を確認します。



表示窓が日付入力にならないとき



紙押さえが正しく閉められていません。両端をしっかりと押し、カチッと鳴るまで閉めてください。手順 **4** を参照してください。



乾電池が正しくセットされていないか、消耗しています。
正しくセットし直してください。手順 **3** を参照してください。

6 お店のご利用状況に合わせて、消費税関連の設定をします。
モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。

6-1 課税方式を設定します。ご購入時の設定は **内税（税 1）** です。ご購入時の設定のままご使用のときは、手順 ***6-2*** へ進みます。

すべての商品を外税扱いにするとき

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

1 1 3 0 0 小計 1 現/預

2 設定情報を印字して完了です。
モードスイッチの位置を「登録」にします。

参照 「課税方式の一括設定」（50 ページ）

すべての商品を非課税扱いにするとき

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 9 9 9 9 小計

2 設定情報を印字して完了です。
モードスイッチの位置を「登録」にします。

参照 「すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター）」（50 ページ）

内税・外税・複数税率・非課税を混在で使用するとき

参照 「部門キーの便利な使い方」（34 ページ）
「課税方式（内税／外税／複数税率／非課税）の設定」（49 ページ）

6-2 税額の円未満の処理を設定します。ご購入時の設定は、**内税は四捨五入・外税は切捨て** です。ご購入時の設定のままご使用のときは、手順 ***6-3*** へ進みます。

参照「消費税額の円未満の端数処理を設定する」（67 ページ）

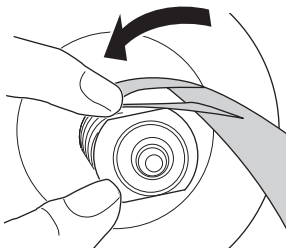
6-3 消費税率が改定されたときに設定します。ご購入時の設定は **８％** です。ご購入時の設定のままご使用のときは、手順 **7** へ進みます。

参照「消費税率の設定」（19 ページ）

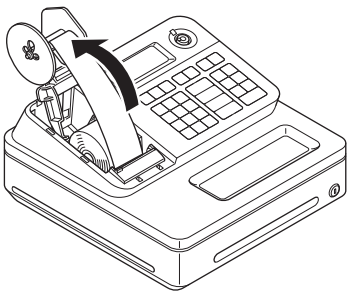
7 ロールペーパーを、「ジャーナル」として使用するか「レシート」として使用するかを選択します。

ジャーナルとして使用するとき

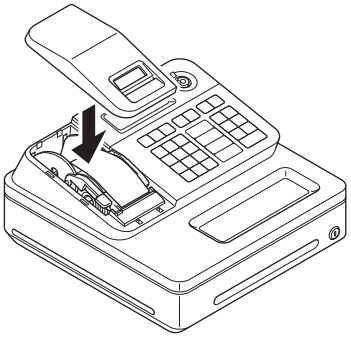
7-1 付属品のジャーナル巻き取りホルダーの溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、２～３周巻き付けます。



7-2 ジャーナル巻き取りホルダーをホルダー受けにセットして、用紙のたるみがなくなるまで 紙送り を押します。
紙送り は、モードスイッチの位置を「登録」にして操作してください。

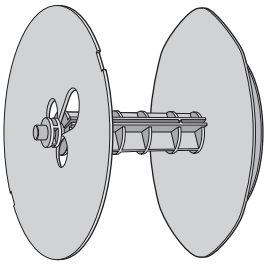


7-3 プリンターカバーを閉めます。
プリンターカバー手前側のフックを引っ掛けて、後ろ側へ閉めてください。



レシートとして使用するとき

7-1 レシートとして使用するときは、ジャーナル巻き取りホルダーは使用しません。ホルダー受けにセットしてレジ内に保管してください。凸部を右側にしてホルダー受けにセットしてください。



プリンターをレシート印字用に設定します。

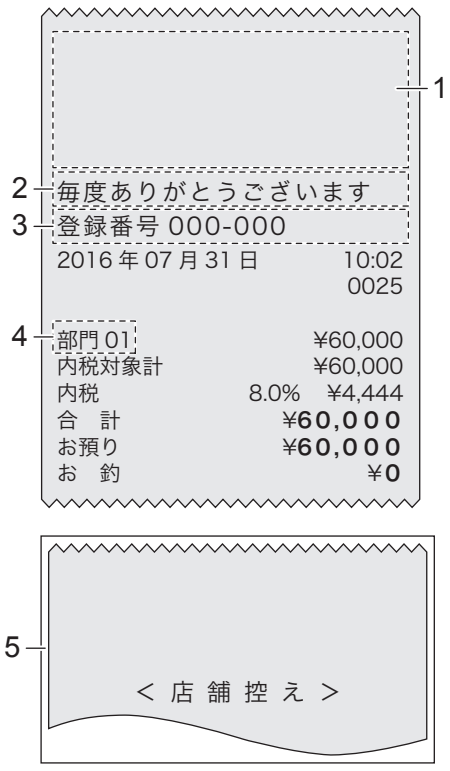
参照「レシート／ジャーナルを切り替える」（57 ページ）

8 レジスターをご使用いただけます。
「初めてレジをお使いになる方へ」（21 ページ）をお読みの上ご使用ください。

下記では、レシートのご購入時の印字について説明しています。
お店のご利用状況に合わせ、変更してご使用ください。

レシートの印字

レシート印字例



1 店名印字スペース
ご購入時の印字は **空白（5 行分）** です。
半角カタカナ、英数字を使って設定した文字を印字できます。

参照「レシートの頭にロゴメッセージを印字する」（59 ページ）

2 レシートメッセージ
ご購入時の印字は **毎度ありがとうございます** です。
メッセージは一種類のみです。印字しない設定にできます。

参照「レシートメッセージを印字しない」（65 ページ）

3 事業者登録番号
適格請求書等保存方式（予定）で、課税事業者の登録番号を印字する際に使用します。

参照「事業者登録番号の設定」（66 ページ）

4 部門名
ご購入時の印字は **部門 01 ～ 04** です。
商品分類名一覧から選択して商品分類名を印字できます。

参照「部門キーに商品分類名を設定する」（58 ページ）

5 レシート 2 枚（控えレシート）
ご購入時の設定は控えレシートを印字しません。1 枚目のレシート発行後にそのレシートを切り、続けて 現/預 を押すと 2 枚目の控えレシートが印字されます。

参照「レシート／ジャーナルを切り替える」（57 ページ）

ご購入時のプリンター設定は「ジャーナル印字用」です。「レシート印字用」でお使いになるときは設定を変更してください。

参照「レシート／ジャーナルを切り替える」（57 ページ）

消費税率について

ご購入時、税率は、「８%」に、税額の円未満の処理は「四捨五入」に設定されています。税率の設定については、「消費税率の設定」（51 ページ）を、税額の円未満の処理については、「消費税額の円未満の端数処理を設定する」（67 ページ）を参照してください。

課税方式について

消費税の課税方式には３つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式（ご購入時）

商品金額に消費税８%が含まれているものを販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格　926 円
（消費税額　74 円
合　計　1,000 円　受取

外税方式

商品金額に消費税８%が含まれていないものを販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格　1,000 円
（消費税額　80 円
合　計　1,080 円　受取

非課税方式

消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格　1,000 円
（消費税額　0 円
合　計　1,000 円　受取

内税方式でご使用のときは、このままご使用いただけます。

内税方式以外でご使用のときは、
・「課税方式の一括設定」（50 ページ）
・「すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター）」（50 ページ）
・「課税方式（内税／外税／複数税率／非課税）の設定」（49 ページ）
を参照して課税方式の設定を変更してください。

複数税率に対応するときは、税１と税２の両方を設定してください。
・「すぐに税率を変更する」（51 ページ）
・「税率改定の予約機能を設定する」（52 ページ）

	税率初期設定		設定後の税率	部門の課税方式初期設定
税１内税	８%	→	A%	部門１～４（税１内税）
税１外税	８%	→	A%	－
税２内税	０%	→	B%	－
税２外税	０%	→	B%	－
非課税	－	→	－	－

軽減税率でご使用のときは対応する部門キーなどの設定変更が必要です。「課税方式の設定」（49 ページ）を参照して、課税方式の設定を税２へ変更してください。（対応する部門キーなど）混在するときは、例えば部門１を「税１内税（10%）」、部門２を「税２内税（8%）」のように設定して使いわけてご使用ください。

消費税の設定後、レジスターをお使いいただけます。

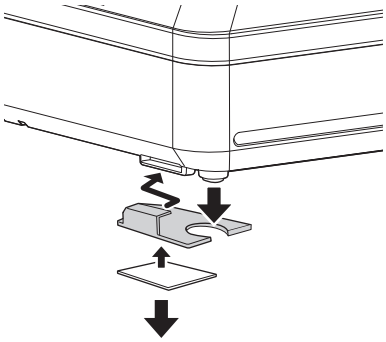
レシートとジャーナルの説明

ご購入時のプリンター設定は「ジャーナル印字用」です。レシート印字とジャーナル印字ではロールペーパーのセット方法が異なります。ご使用に合わせてセットしてください。

	巻き取り	店名	ロールペーパーのセット方法
レシート お客様に渡す売上明細です（設定を変更してください(57 ページ)）	しない	印字する	78 ページ
ジャーナル お店の営業記録として保存します（ご購入時の設定）	巻き取りする	印字しない	77 ページ

落下防止用フックの取り付け

ドロアーが開いたときに、硬貨の重みでレジスターが浮き上がってしまうのを防止するフックです。貼付用両面テープの、表と裏の剥離紙をはがして取り付けてください。



電卓の操作と何が違うの？

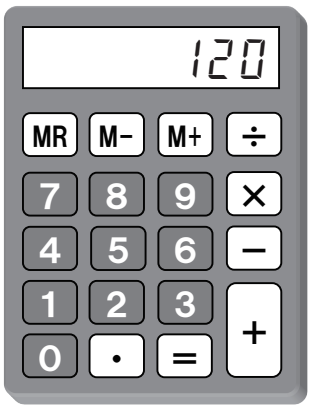
操作例

120 円と 350 円の商品を売り上げ、お客様から 1,000 円をお預かりした。

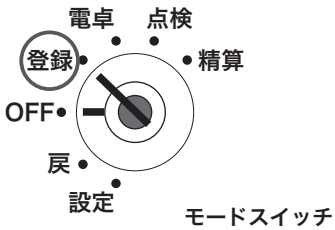
■電卓で計算するときのキー操作は

操作	表示例
1 2 0 ＋	
3 5 0	
＝	470
－ 1 0 0 0	
＝	-530

※お釣は 530 円です。



■レジでは、以下のように操作します

手順	操作	表示例
1 モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。 ※「登録」とは、取引の内容をレジに記憶させることです。		
Point 1 *2* 商品の単価を入力し、「部門 1」に登録します。	1 2 0 部門 1 3 5 0 部門 1	
Point 2 *3* 登録した商品の合算を求めます。	小計	470
Point 3 *4* お客様からお預かりした金額を入力し、それが「現金」であることを登録します。	1 0 0 0 現/預	530

初めてレジをお使いになる方へ

Point 1

■「部門」とは商品を分類するものです。
■ 部門１～４まで選べます。
■ 事前に、商品をどの部門に割り振るか決めておきます。

４個の部門を上手に使い分けて、
・商品の種類別に売上を集計する
・課税方式によって登録する部門を使い分ける
などができます。お店に合わせてお役立てください。
部門の詳細は、「部門キーの便利な使い方」（34 ページ）を参照してください。

Point 2

小計 は、「部門１～４」に登録したすべての商品の合算を表示します。

Point 3

現/預 を押すと、レジは「現金で千円の入金」があり、「お釣りとして 530 円の出金」があったことを記録します。

商品券でお支払いのときは、現/預 の代わりに商品券 券 を押します。

レジは、取引による入出金の履歴を、現金／商品券にわけて正しく記録します。



よく使うキーは何？

よく使うキーの概要を説明します。（ほかのキーは本書を順次お読みください。）

取引中に使うキー

％ －

商品の売上登録をしたすぐあとに 5 ％ を入力すると、商品の単価に対して 5%引き（割引き）します。小計 を押したあとであれば、登録した商品の合算に対して割引きをします。同様に、－ は○○円引き（値引き）します。

参照「合計から － で値引きをする」（36 ページ）
「商品ごとに割引きをする」（37 ページ）
「合計金額から割引きをする」（37 ページ）

×/日時

「掛け算」キーです。「100 円の商品を 8 個売上」のときは
8 ×/日時 1 0 0 部門 1 と入力します。

参照「同じ商品を複数売り上げる（乗算登録）」（27 ページ）

AC C 訂正

キー入力をまちがったときは、このキーで訂正します。入力中、どの時点でまちがいに気づいたかで、訂正の方法／訂正に使用するキーが異なります。

参照「部門・取引キーを押す前に訂正する（置数訂正 AC C）」（30 ページ）
「部門キーを押した直後の訂正（直前訂正 訂正）」（31 ページ）

取引以外で使うキー

入金／出金の記録を残します。

入金 CAL

開店前に釣り銭をレジに入れて入金登録する。

参照「売上に関係のない現金をドロアーに入れる」（39 ページ）

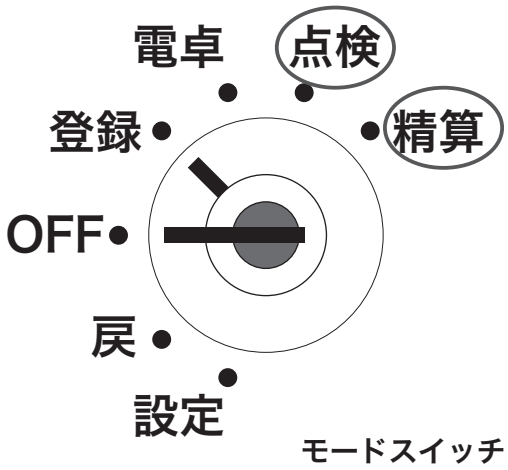
出金

集金業者に、レジから現金を出して支払う。
店の備品購入のため、レジから現金を出す。

参照「売上に関係のない現金をドロアーから出す」（39 ページ）

「取引」に関わる金銭の出入りは、現/預 券 で記録し、取引以外は 入金 CAL 出金 で記録します。このようにして、すべての金銭の出入りがレジに記憶され、レジの中にあるべき金銭（在高と呼びます）を把握できます。閉店後はレジにある金銭を数えて、在高と合致するか確認してください。

精算と点検について



モードスイッチ

精算とは

モードスイッチの位置を「精算」にして 現/預 を押します。

閉店後、「精算」するとレジは今日一日のデータを集計して、レポートに印字します。オーナーは、レポートを見てその日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在高、レジの操作履歴などを確認できます。

レポートの印字が終了すると、自動で今日のデータをすべてクリア（ゴハサン）し、明日の営業に備えます。

> ⚠注意 **「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。**

点検とは

モードスイッチの位置を「点検」にして 現/預 を押します。

「点検」とは、「精算」と同様のものですが、その日の途中経過を知りたいときに使います。

営業中に「点検」すると、データをクリア（ゴハサン）せずに残したまま、その時点での途中経過を集計してレポートに印字します。

一日の仕事の流れ

開店前

- ☑ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ☑ ロールペーパーが充分にあるか確認します。ないときは交換します。
  参照 ロールペーパーを交換する 77 ～ 78 ページ
- ☑ 日付と時刻を確認します。
  参照 時刻および日付を表示する 38 ページ
- ☑ 釣銭用の小銭をドロアーに用意して入金登録します。
  参照 売上に関係ない現金をドロアーに入れる 39 ページ

↓

営業中

- ☑ 商品の売上を登録します。
  参照 「基本的な操作」26 ページ～
- ☑ 必要に応じて売上の確認をします。
  参照 「売上の点検」41 ページ

↓

閉店後

- ☑ 一日の売上を打ち出します。
  参照 一日の売上を精算する 33 ページ
- ☑ ドロアー内のお金を取り出して出金登録します。
- ☑ モードスイッチの位置を「OFF」にします。

↓

今日も一日お疲れ様でした。

ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

基本的な操作

モードスイッチの位置



ここでは、基本的なレジの操作について次の場合に分けて説明します。

・1 品の商品を売り上げる
・2 品以上の商品を売り上げる
・同じ商品を複数売り上げる（乗算登録）
・同じ商品を複数売り上げる（リピート登録）
・両替などでドロアーを開ける

本書の例について

本書では、「税率８% の内税方式（円未満四捨五入）」の場合を例に説明しています。

⚠注意 **印字例は「ジャーナル」に設定した場合です。以後の印字例も同様です。「レシート」に設定した場合は、18 ページのレシート例のように店名記載部ができ、最初の行に日付が印字されて時刻／一連番号の後と合計の前にそれぞれ１行分の空きができます。**

商品１つを売上登録する

1 品の商品をお買い上げのときの操作を説明します。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

手順

1 商品の単価と部門キーを押します。

1 2 0 0 [+ 1]

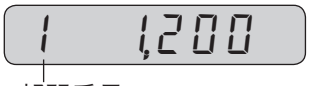
2 [小計] を押します。

[小計]

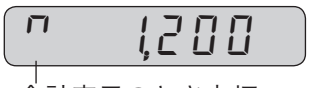
3 預かり金額を入力して [現/預] を押します。

2 0 0 0 [現/預]

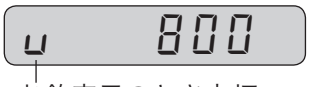
表示例



部門番号

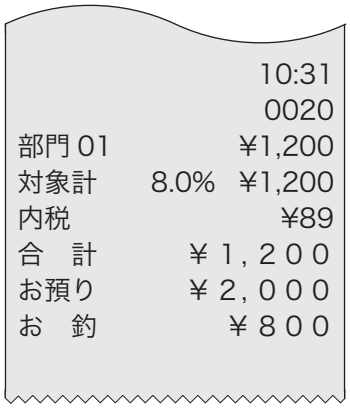


合計表示のとき点灯



お釣表示のとき点灯

印字例



商品 2 品以上を売り上げる

複数の商品をお買い上げのときの操作を説明します。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥200	1	部門 4	¥2,500
¥800	1	部門 2	
¥1,100	1	部門 1	

手順

1 商品の単価と部門キーを押します。商品の数だけ操作を繰り返します。

2 0 0 ÷ 4
8 0 0 − 2
1 1 0 0 + 1

2 商品をすべて入力したら 小計 を押します。

小計

3 預かり金額を入力して 現/預 を押します。

2 5 0 0 現/預

印字例



```
                    10:35
                    0024
部門 04            ¥200
部門 02            ¥800
部門 01          ¥1,100
対象計  8.0%     ¥2,100
内税               ¥156
合　計        ￥２，１００
お預り        ￥２，５００
お　釣          ￥４００
```

同じ商品を複数売り上げる（乗算登録）

同じ商品を複数お買い上げのときの操作を説明します。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥200	12	部門 2	¥10,000

手順

1 商品の数量、×/日時、単価、部門キーの順に押します。

1 2 ×/日時 2 0 0 − 2

2 小計 を押します。

小計

3 預かり金額を入力して 現/預 を押します。

1 0 0 0 0 現/預

印字例



```
                    10:41
                    0027
      12 点          @200
部門 02            ¥2,400
対象計  8.0%     ¥2,400
内税               ¥178
合　計        ￥２，４００
お預り        ￥１０，０００
お　釣        ￥７，６００
```

ポイント **入力できる数量は「1 ～ 9999」の整数です。（戻しの場合は「1 ～ 999」の整数です）**

同じ商品を複数売り上げる（リピート登録）

複数の商品を複数お買い上げのときの操作を説明します。

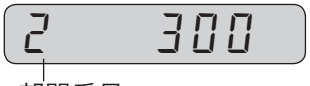
操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥300	3	部門2	¥2,000
¥500	2	部門1	

手順

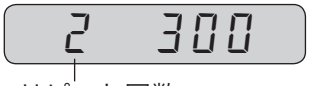
1 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量の数だけ部門キーを繰り返します。

3 **0** **0** [－ 2]



部門番号

[－ 2]



リピート回数

[－ 2]



2 別の商品の単価と部門キーを押します。
この商品の数量の数だけ部門キーを繰り返します。

5 **0** **0** [＋ 1]



[＋ 1]



3 [小計] を押します。

[小計]



4 預かり金額を入力して [現/預] を押します。

2 **0** **0** **0** [現/預]



印字例



⚠注意　リピート回数は、10 回以上のときは下 1 桁だけ表示します。

両替などでドロアーを開ける

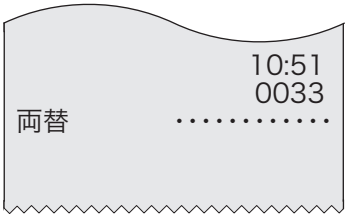
両替など「取引」以外の場面で、ドロアーを開けるときの操作です。

手順

1 [#/替] を押します。ドロアーが開きます。

[#/替]

印字例

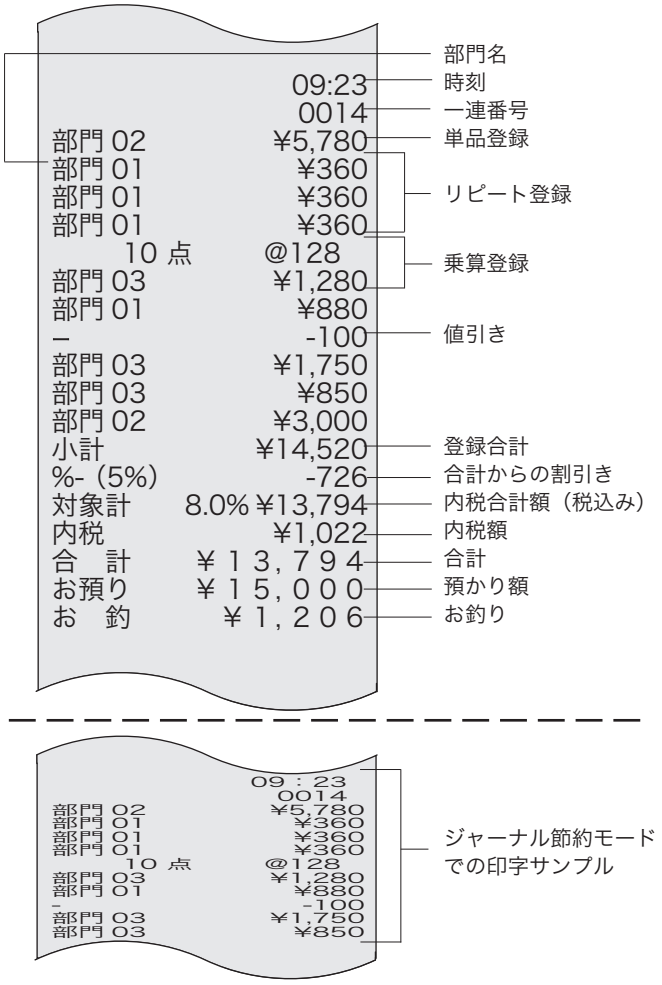


ポイント　取引中、[#/替] は「番号印字」キー（38 ページ参照）として機能します。[#/替] を押してもドロアーは開きません。

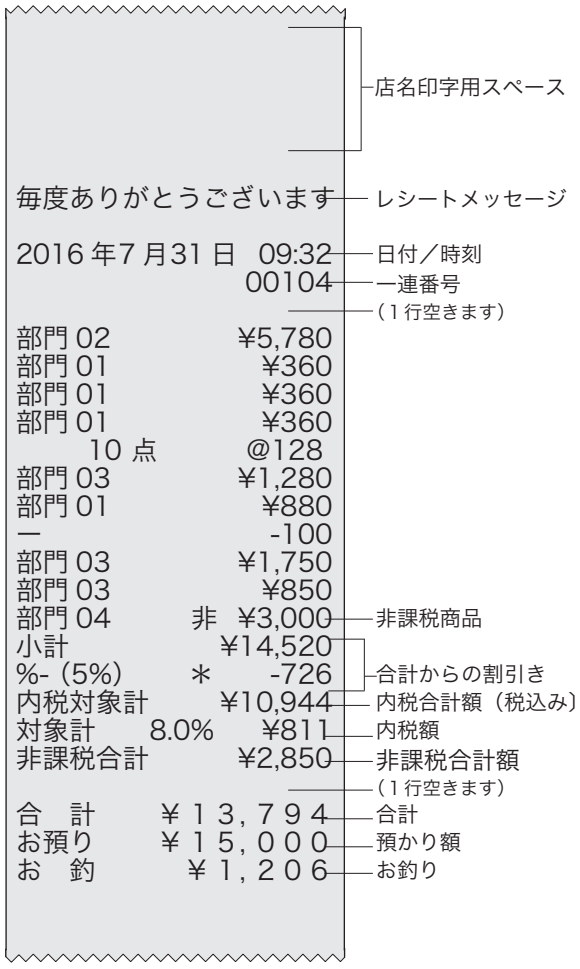
レシート・ジャーナルの見方

レシート（ジャーナル）には、レジの操作内容が印字されます。消費税の設定（内税／外税／非課税）によって、印字内容が異なります。ここでは、レシート（ジャーナル）の見方について説明します。

ジャーナルの例 内税（ご購入時）の場合



レシートの例 課税方法が混在の場合



ポイント　ジャーナルとしてお使いの場合、ジャーナル巻き取りホルダーに巻き取ったあとお店に保管します。

注意　本書で紹介しているレシート／ジャーナルの印字例は、イメージしやすいように、見やすく記述しています。そのため、実物のレシート／ジャーナルと、行間・字間・書体が異なります。

キー操作をまちがえたとき

モードスイッチの位置



取引中に操作をまちがえた際の訂正方法は、操作の状況に応じて下記 2 つの方法があります。

[AC C] による置数訂正　「登録」の途中で置数入力のまちがいに気がついた場合、部門キーを押す前であれば、[AC C] を押して入力した単価や個数を取り消します。

[訂正] による直前訂正　1 つの商品を「登録」した直後（部門キーを押した直後）にまちがいに気がついた場合、[訂正 中止] を押して直前に「登録」した商品のみを取り消します。

部門・取引キーを押す前の訂正（置数訂正 [AC C]）

部門キー・取引キーを押す前に訂正するときの操作を説明します。

ポイント　部門・取引キーを押す前は、すべて [AC C] で訂正できます。

操作例

以下の表の各操作時（①〜④）にまちがえたときの手順を説明します。

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥120	1	部門 1	
②	¥200	5	部門 4	④ ¥3,000
③	¥105	10	部門 2	

①単価を押しまちがえた

手順

1 [AC C] を押します。

1 2 00 [AC C]

2 正しく入力して、部門キーを押します。

1 2 0 [+ 1]

②単価を入れて [×/日時] を押した（数量をまちがえて [×/日時] を押した）

手順

1 [AC C] を押します。

2 0 0 [×/日時] [AC C]

2 正しく入力して、部門キーを押します。

5 [×/日時] 2 0 0 [÷ 4]

③乗算で単価をまちがえた

手順

1 [AC C] を押します。

1 0 [×/日時] 1 5 0 [AC C]

2 正しく入力して、部門キーを押します。

1 0 [×/日時] 1 0 5 [− 2]

④預かり金額をまちがえた

手順

1 [AC C] を押します。

[小計] 5 0 0 0 [AC C]

2 正しく入力して、[現/預] を押します。

[小計] 3 0 0 0 [現/預]

ポイント
- **プリンターに印字される前であれば置数を訂正できますが、印字された後での訂正はできません。**
- **ここでは「部門キーを押す前の訂正」と「[現/預] を押す前の訂正」を例に説明しましたが、[%]、[−]、[券]、[入金]、[出金] も同様に、キーを押す前であれば [AC C] を押して置数を訂正できます。**

キー操作をまちがえたとき

部門キーを押した直後の訂正（直前訂正 訂正）

部門キーを押したあとに訂正するときの操作を説明します。

ポイント 部門キーを押した直後は、訂正 で訂正できます。

操作例

以下の表の各操作時（①～②）にまちがえたときの手順を説明します。

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥505	1	部門3	¥2,000
②	¥230	3	部門2	

①単価をまちがえて部門キーを押した

手順

1 訂正 を押します。

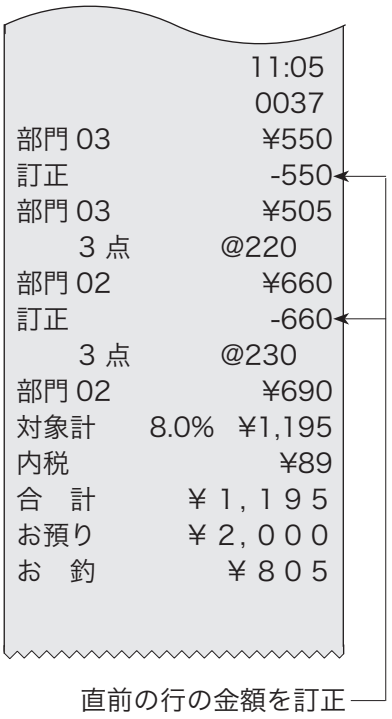
5 5 0 × 3 訂正

訂正したい操作

2 正しく入力して、部門キーを押します。

5 0 5 × 3

印字例



②乗算で単価をまちがえて部門キーを押した

手順

1 訂正 を押します。

3 ×/日時 2 2 0 − 2 訂正

訂正したい操作

2 正しく入力して、部門キーを押します。

3 ×/日時 2 3 0 − 2

3 小計 を押して、預かり金額を入力して 現/預 を押します。

小計 2 0 0 0 現/預

ポイント 部門キー同様、%、− を押した直後であれば、これらの割引き、値引きを取り消すことができます。

返品処理をする

モードスイッチの位置



売り上げた商品を返品する

ここでは、売り上げた商品を返品するときの操作を説明します。
返品とは、[現/預] を押して、登録が終了したあとでまちがいに気づいたときや、商品の返品があった場合に行うことです。返品するときは、モードスイッチを「戻」の位置に合わせます。

なお、モードスイッチを「戻」にすると、表示窓の左側に“ー”が表示されます。

⚠注意 **戻モードでの処理が終わったら、必ずモードスイッチを元の位置に戻してください。**
そのままにしておくと、このあと売上登録する商品がすべて返品扱いで処理されてしまいます。

操作例

以下の表の商品の返品を処理します。

単価	数量	部門	戻し金
¥780	2	部門1	現金
¥1,280	1	部門3	

手順

1 モードスイッチを「戻」に位置に合わせます。

2 返品する商品の単価と部門キーを数量分だけ押します。

7 8 0 [+ 1] [+ 1]

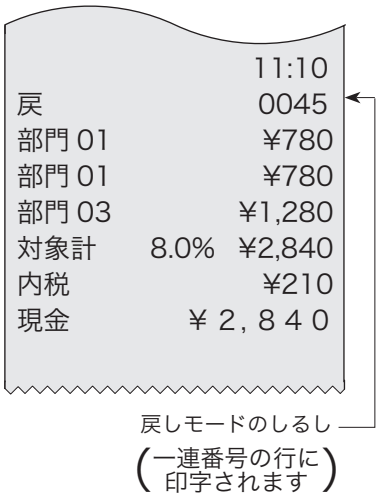
1 2 8 0 [× 3]

3 [小計] を押して、[現/預] を押します。

[小計] [現/預]

4 返品の処理が終わったら、モードスイッチを「登録」の位置に戻します。

印字例



閉店後の操作〜精算

モードスイッチの位置
精算

閉店後には、一日の売上を精算します。「精算」とは、その日の取引データを集計してレポートを印字した後、元になった取引データをすべてクリア（ゴハサン）する処理です。「精算」をすると、レジはレポート印字とデータクリアを続けて処理します。オーナーはレポートを見て、その日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在高などを確認できます。（レポートは必要に応じて保管してください。）

⚠注意　「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

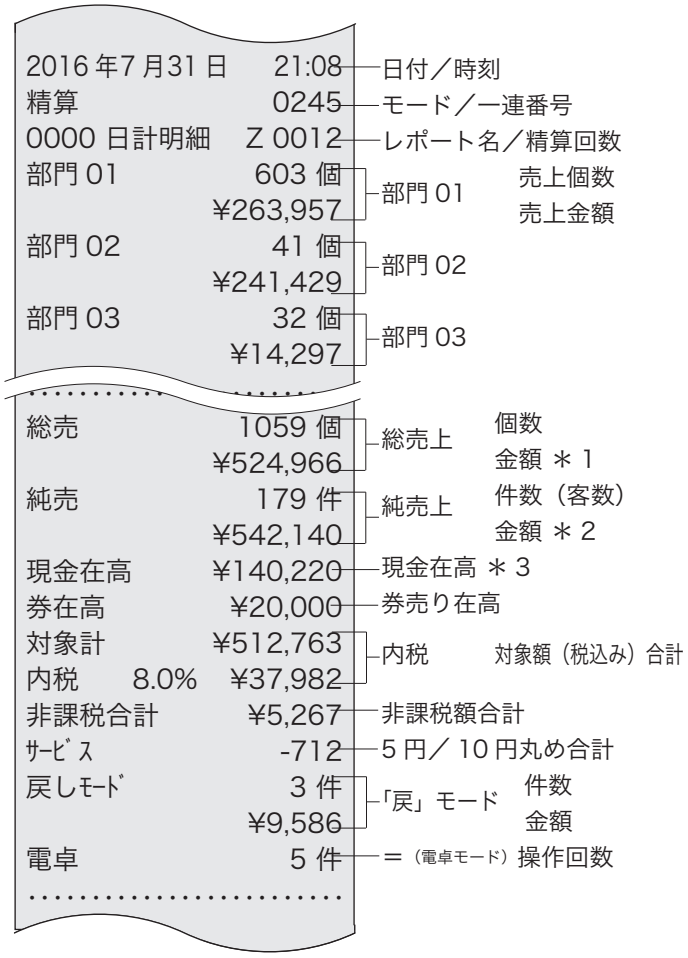
一日の売上を打ち出す

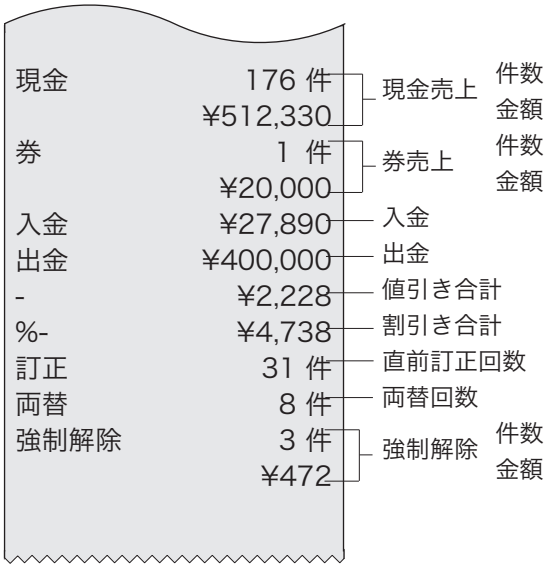
精算するときは、モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。
モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の左側に“ U ”が表示されます。

手順

モードスイッチを「精算」にして 現/預 を押します。

印字例





ポイント
- **集計数値が“0”の項目は、その項目が印字されません。**
- **点検・精算の印字例は「レシート」に設定した場合の例です。**
- **「日計明細」の精算（または点検）をはじめ、本機の点検／精算で印字される各項目間には以下の関係式が成り立っています。**

＊1 総売上＝部門合計（個数、金額とも）
＊2 純売上＝現金売上＋券売上
＝総売上－値引き－割引き－5円／10円丸め合計＋消費税（外税）
＝（お客様の支払い額の総合計）
＊3 現金在高＝現金売上＋入金合計－出金合計－券売り釣銭合計
総売上－値引き－割引き＝内税対象額＋外税対象額＋非課税額合計

部門の便利な使い方

⚠注意 **事前に設定が必要な機能があります。必要に応じて参照ページを見てください。また、印字例は設定内容によっては記載の例と異なることがあります。**

部門について

「部門」とは、商品を分類するもので「部門１～４」まで選択できます。
「部門キー」には、いろいろな機能が用意されていますので、お店のご利用に合わせてご活用ください。

使用例１
扱う商品を分類して「部門１～４」に割り振り、部門ごとに売上を集計する

使用例２
「部門１」は ¥100、「部門２」は ¥200 と設定して、レジ打ちの際の単価入力の手間を省く

使用例３
税計算を正しくおこなうため、「部門４」：非課税、「部門３」：税１外税、それ以外は税１内税と設定し、レジ打ちの際は商品の課税方式に応じて該当の「部門」に登録する（軽減税率が適用されたときは税２内税、税２外税に設定して登録する）

機能	ご購入時の設定	説明	参照ページ
部門名	部門 01 ～部門 04	レシート（ジャーナル）に印字される部門名です。 商品分類名一覧（58 ページ）から選択した商品名に変更できます。 任意のキャラクタを設定する機能はありません。	58
商品単価	設定されていません	「部門キー」ごとに単価を設定できます。 設定すると、「部門キー」を押すだけで設定した単価で売上できます。	47
課税方式	内税（税１）	設定に応じた税計算を行います。 内税、外税、複数税率、非課税のいずれかを設定します。	49
負単価部門	設定されていません	この部門に登録する商品は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使用すると便利です。	72
入力桁制限	７桁以内	桁数制限を設けて、制限を越える桁数の入力をエラーにすることができます。	72
単品売り	設定されていません	設定すると、「部門キー」を押すだけで 現/預 を押した状態になります。単品売りを繰り返すときに便利です。商品単価の設定も必要です。	72

部門キーの便利な使い方

モードスイッチの位置
登録

単価設定した部門キーで商品を売り上げる

事前に部門キーに単価を設定しておくと、部門キーを押すだけで単価が登録できます。
ここでは、その操作方法について説明します。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥800（部門キーに設定済み）	1	部門3	¥5,000
¥1,200	1	部門2	
¥600	1	部門2	
¥500（部門キーに設定済み）	4	部門2	

手順

1 単価設定済みの商品は部門キーだけを押し、設定されていない商品は単価と部門キーを押します。

[× 3]（単価設定済み部門キー）

1 2 0 0 [× 3]

6 0 0 [－ 2]

4 [×/日時] [－ 2]（単価設定済み部門キー）

2 [小計]、預かり金および [現/預] を押します。

[小計] 5 0 0 0 [現/預]

印字例

```
                    11:23
                     0061
部門 03              ¥800
部門 03            ¥1,200
部門 02              ¥600
      4 点     @500
部門 02            ¥2,000
対象計    8.0%     ¥4,600
内税                 ¥219
合　計          ￥４,６００
お預り          ￥５,０００
お　釣            ￥４００
```

ポイント **部門キーに単価が設定されていても、単価を入力してから部門キーを押すと、その単価で登録されます。なお、部門キーに設定されている単価は変更されません。**

部門キーへの単価設定の仕方は、**47** ページを参照してください。

値引きをする

モードスイッチの位置



[－] で値引きをする

操作例

単価	数量	部門	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門 2		

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

1 0 0 0 [+ 1]

2 5 0 0 [－ 2]

2 [小計] を押します。

[小計]

3 値引きする金額を入力して、[－] を押します。

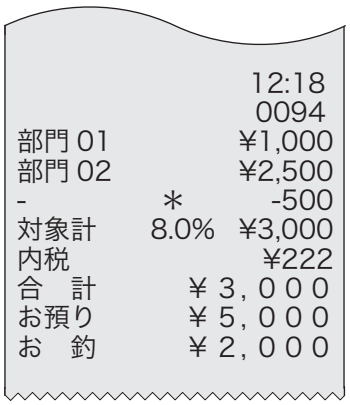
5 0 0 [－]

4 [小計]、預かり金および [現/預] を押します。

[小計] 5 0 0 0 [現/預]

[－] の課税方式を設定するときは、**49** ページを参照してください。

印字例



```
                    12:18
                    0094
部門 01            ¥1,000
部門 02            ¥2,500
-          ＊         -500
対象計   8.0%      ¥3,000
内税               ¥222
合　計          ￥３，０００
お預り          ￥５，０００
お　釣          ￥２，０００
```

合計の 10 円未満を自動値引きする（5 円丸め／ 10 円丸め）

消費税を含んだ合計金額を、「10 円単位」または「5 円単位」に丸めて自動値引きすることができます。自動値引きは、事前に設定しておく必要があります。

操作例

以下の表の商品を 10 円未満の値引きで販売する

単価	数量	部門	預かり金
¥2,841	1	部門 1	¥10,320
¥2,482	1	部門 2	

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

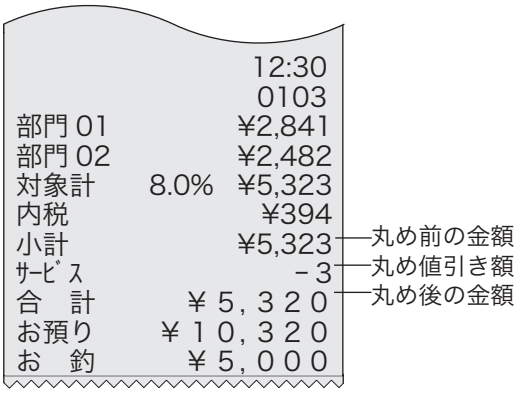
2 8 4 1 [+ 1]

2 4 8 2 [－ 2]

2 [小計]、預かり金および [現/預] を押します。自動的に値引きされます。

[小計] 1 0 3 2 0 [現/預]

印字例



```
                    12:30
                    0103
部門 01            ¥2,841
部門 02            ¥2,482
対象計   8.0%      ¥5,323
内税               ¥394
小計               ¥5,323 ―丸め前の金額
ｻｰﾋﾞｽ                 －3 ―丸め値引き額
合　計          ￥５，３２０ ―丸め後の金額
お預り          ￥１０，３２０
お　釣          ￥５，０００
```

ポイント

- **「5 円丸め」は、「1 ～ 4 円→ 0 円」に、「5 ～ 9 円→ 5 円」に丸められます。**
- **「10 円丸め」は「1 ～ 9 円→ 0 円」に丸められます。**
- **どちらの場合も、丸められた差額が自動値引きされて、印字されると同時に丸め合計に集計されます。なお、差額がないときは印字されません。**

5 円丸めまたは 10 円丸めの設定については、**48** ページを参照してください。

割引きをする

モードスイッチの位置
登録

商品ごとに割引きをする

商品を割引きするときは [%] を使います。事前に [%] に割引き率を設定できます。ここでは、５%に設定されている場合を例に説明します。

操作例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門１	5%（設定済み）	¥5,000
¥2,500	1	部門２	7.5%	

手順

1 商品の単価と部門キーを押します。

[1][0][0][0][+ 1]

2 [%] を押すと、直前に登録した商品を 5%（設定値）割引きします。

[%]

3 次の商品を登録します。

[2][5][0][0][− 2]

4 この商品の割引き率を入力して、[%] を押します。

[7][•][5][%]

5 [小計]、預かり金および [現/預] を押します。

[小計][5][0][0][0][現/預]

印字例

```
                 12:21
                 0098
部門 01        ¥1,000
%-（5%）          -50
部門 02        ¥2,500
%-（7．5%）       -188
対象計   8.0%  ¥3,262
内税             ¥242
合　計       ¥３，２６２
お預り       ¥５，０００
お　釣       ¥１，７３８
```

ポイント **%計算の円未満の端数は標準では四捨五入ですが、切上げまたは切捨てにできます。**

[%] への割引き率の設定は 47 ページを、[%] の端数処理の設定は 71 ページを参照してください。

合計金額から割引きをする

ここでは、商品の合計から割引きする手順を説明します。

操作例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門１	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門２		

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押して、[小計] を押します。

[1][0][0][0][+ 1][2][5][0][0][− 2]

[小計]（合計からの割引きのときは必ず押します）

2 割引き率を入力して、[%] を押します。

[1][0][%]

3 [小計]、預かり金および [現/預] を押します。

[小計][5][0][0][0][現/預]

印字例

```
                 12:22
                 0099
部門 01        ¥1,000
部門 02        ¥2,500
小計           ¥3,500
%-（10%）         -350
対象計   8.0%  ¥3,150
内税             ¥233
合　計       ¥３，１５０
お預り       ¥５，０００
お　釣       ¥１，８５０
```

ポイント **[%] は割増しにすることもできます。**

割増しの設定については、**71** ページを参照してください。

番号を印字する／日時の表示

モードスイッチの位置
登録

伝票番号や商品コードを印字する

集計に関係ない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号など）を印字する場合は、その数値を入れたあとで [#/替] を押します。これを番号印字といいます。

操作例

お客様番号 1001 に、下記の商品を販売する

単価	数量	部門	預かり金
¥3,500（商品コード 33474830）	1	部門 2	¥5,000

手順

1 お客様コードを入力して、[#/替] を押します。

1 0 0 1 [#/替]

2 商品コードを入力して、[#/替] を押します。

3 3 4 7 4 8 3 0 [#/替]

3 商品の単価と部門キーを押します。

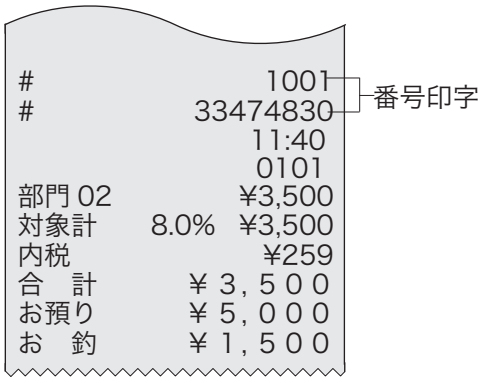
3 5 0 0 [－ 2]

4 [小計]、預かり金および [現/預] を押します。

[小計] 5 0 0 0 [現/預]

入力可能な数値は最大 8 桁です。

印字例



時刻および日付を表示する

[×/日時] を使うと、時刻および日付を表示することができます。[×/日時] を押すと、押すたびに時刻と日付が交互に表示されます。登録の途中では表示されません。他の操作を行う場合は、[AC C] を押してからはじめます。

ポイント　時刻および日付の表示は、モードスイッチの位置が「戻」でも操作可能です。

操作例

「時刻」および「日付」を確認する

手順

1 [×/日時] を押します。時刻が表示されます。

[×/日時]

2 もう一度 [×/日時] を押します。日付が表示されます。

[×/日時]

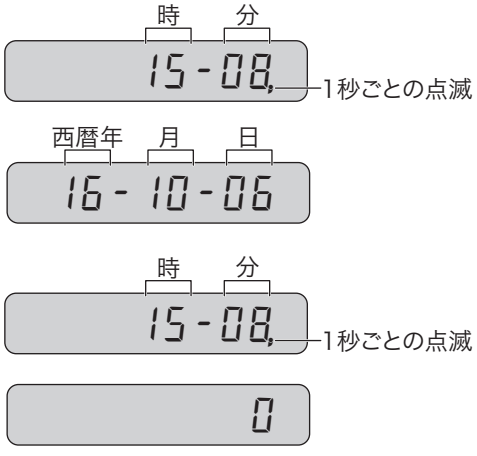
3 もう一度 [×/日時] を押します。時刻が表示されます。

[×/日時]

4 時刻または日付の表示を消すには、[AC C] を押します。

[AC C]

表示例



※西暦年は下 2 桁を表示します。
時刻・日付の設定（修正）は、46 ページを参照してください。

入金処理と出金処理

モードスイッチの位置
登録

売上とは関係ない現金をドロアーに入れる

釣銭用の小銭や貸し売り代金の受取りなど、売上ではない現金をドロアーに入れるときに、入金 を使うと、ドロアー内の現金在高が登録されます。

操作例

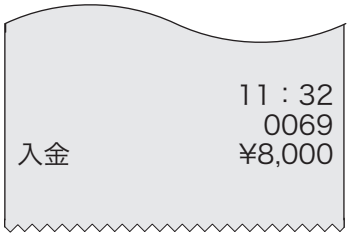
「釣銭用」として、8,000 円を補充する

手順

1 入金する金額を入力して、入金 を押します。

8 0 0 0 入金

印字例



ポイント
- **この操作で、点検時および精算時にドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。**
- **入力は 8 桁以下にしてください。**

売上とは関係ない現金をドロアーから出す

集金やドロアーがいっぱいになったときなど、売上（お釣りや両替など）ではない現金をドロアーから出すときに、出金 を使うと、ドロアー内の現金在高が登録されます。

操作例

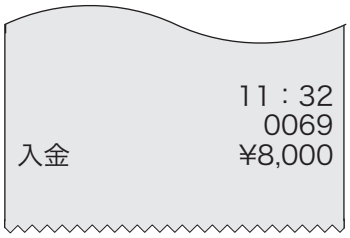
一万円札 15 枚を金庫に移す

手順

1 出金する金額を入力して、出金 を押します。

1 5 0 0 0 0 出金

印字例



ポイント
- **この操作で、点検時および精算時にドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。**
- **入力は 8 桁以下にしてください。**

商品券の売上

モードスイッチの位置



商品券で売り上げる

券売り（商品券売り）で売り上げる場合は 券 を押します。

操作例

以下の表の商品を券売りで販売する。

単価	数量	部門	預かり金
¥1,500	4	部門2	¥20,000
¥5,500	1	部門1	

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

4 ×/日時 1 5 0 0 − 2

5 5 0 0 + 1

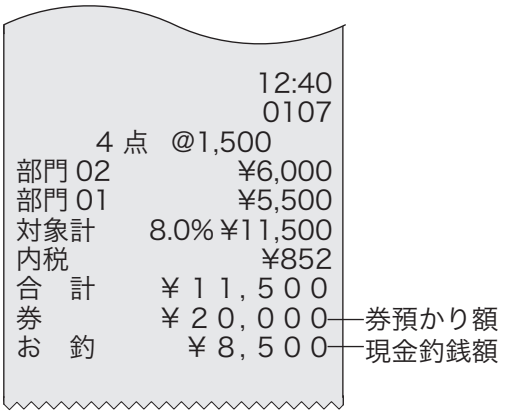
2 小計 を押します。

小計

3 券 を押します。

2 0 0 0 0 券

印字例



売上の点検

モードスイッチの位置
点検

点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

・モードスイッチの位置を「点検」にすると、表示窓の左側に“Π”が表示されます。
・レポートに印字される“X”は「点検」を意味します。
・点検をしても、それまでのデータは消去（ゴハサン）されません。

現時点での売上合計と現金在高を確認する

ここでは、現時点での売上合計と現金在高を確認する方法を説明します。

手順

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 [×/日時] を押します。

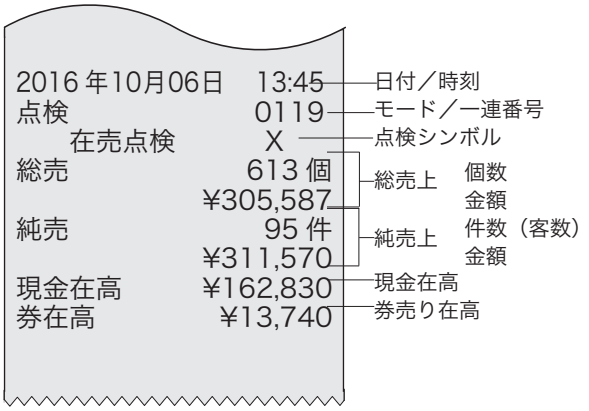
[×/日時]

表示例



純売上の金額を表示します。

印字例



ポイント **レポートを印字せず、表示窓に純売上を表示するだけ（エコモード）に設定できます。設定は「点検／精算レポートの印字制御」（70 ページ）を参照してください。**

日計明細を確認する

部門別、締め種別、入出金などの売上の明細を確認する方法を説明します。

手順

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 [現/預] を押します。

[現/預]

印字例

印字例は、33 ページを参照してください。

部分累計を確認する

部分累計とは、ある一定の期間（週単位や月単位など）の売上合計のことです。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、部分累計を精算して以降の売上を、自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に部分累計を精算してください。

手順

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 設定コードを入力して [現/預] を押します。

2 0 [現/預]

売上の精算

モードスイッチの位置
精算

精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータを消去（ゴハサン）にする操作です。

・モードスイッチの位置を「精算」にすると、表示窓の左側に“␣”が表示されます。
・レポートに印字される“Z”は「精算」を意味します。
・日計明細を精算すると日計明細のデータが、部分累計の精算をすると部分累計のデータがそれぞれ消去されます。

一日の売上を精算する（日計明細の精算）

日計明細の精算に関する手順と印字例は、**33** ページを参照してください。

部分累計の集計内容を精算する

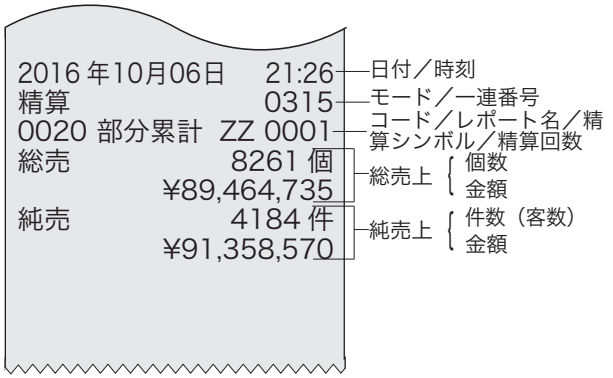
部分累計の集計内容を精算する方法を説明します。

手順

1 モードスイッチの位置を「精算」にします。
2 設定コードを入力して 現/預 を押します。

2 **0** 現/預

印字例



⚠注意 **個数または件数が 4 桁を超えた場合、および、金額が 8 桁を超えた場合は、超えた頭の部分が印字されません。**

電卓機能の使い方

モードスイッチの位置を「電卓」にすると、表示窓の左側に“[”が表示されます。



⚠注意　8桁（負数のときは7桁）を超えるとエラーになります。

ポイント
- **計算命令キーは、上記のほか [−] が減算に、[X/日時] が乗算に使用できます。**
- **電卓モード中は、[#/替] を押すとドロアーが開きます。**

税抜き金額・税額を計算する　券

1,500円の税抜き金額と内税額は？
（「税1」が税率8％、内税、端数四捨五入の場合）

操作	表示例
C/AC C 1 5 0 0 券	1389.
	税抜き金額
（続けて） 券	111.
	内税額

⚠注意　税計算は、「税1」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。

モードスイッチの位置



[%] を使って計算する [%]

[%] を使うと下表の計算が簡単にできます。

	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a 円の b %を求める	a [×3] b [%]	a*b/100
割増計算	a 円の b %増しを求める	a [×3] b [%] [+1]	a + (a*b/100)
割引計算	a 円の b %引きを求める	a [×3] b [%] [−2]	a − (a*b/100)
比率計算	a 円は b 円の何%かを求める	a [÷4] b [%]	a/b*100
増減比率計算	b 円から a 円に変化したときの b 円に対する変化率を求める	a [−2] b [%]	(a − b)/b*100
売価設定計算	原価 a 円の商品を利益率 b %で販売するときの売価を求める	a [+1] b [%]	a/(1 − b/100)

消費税改定による新単価を計算する

消費税が改定される際は、事前に商品の単価を見直す必要があります。
「税込み商品（内税）の単価が、税率改定によっていくらになるか？」を、今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

操作例

現在税込 1 万円（内税 8 %）の商品が、税率 10%になるといくらになるか

操作	表示例
10000	10000.
[券]	9259
	「10000」の税抜き価格
[×3] 10 [%]	925.9
	「9524」の 0%分
[+1]	10184.9
	新税率での税込価格

電卓機能の使い方

呼び出し機能を使って計算する

入金 CAL

操作例

以下の商品の売上合計を 4 人で割り勘にします。
・部門 1 キーに登録されている単価 930 円の商品を 4 個お買い上げ
・部門 2 キーに登録されている単価 1,240 円の商品を 1 個お買い上げ

操作	表示例
1 モードスイッチの位置を「登録」にします。 商品を登録します。 4 ×/日時 9 3 0 + 1 1 2 4 0 − 2	3,720 1,240
2 小計 を押します。 小計	4,960 合計金額
3 モードスイッチの位置を「電卓」にします。 入金 CAL を押すと、手順 2 の小計の値を呼び出します。 入金 CAL	4960. 呼び出された合計金額
4 割り勘の計算をします。 ÷ 4 4 現/預	1240. 1 人当たり割り勘額
5 モードスイッチの位置を「登録」にします。 小計 を押すと、元の状態（手順2）に戻ります。 小計	4,960 合計金額

⚠注意
・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（小計 を押したときに表示される数値）です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

時刻と日付の設定

モードスイッチの位置
設定

ここでは、時刻および日付の設定方法について説明します。
これらの設定をするときは、モードスイッチの位置を「設定」にします。
モードスイッチを「設定」にすると、表示窓の左側に“P”が表示されます。

時刻を設定する

時刻に遅れまたは進みがでたときは、時刻を設定します。電池を交換したときは、時刻を確認してください。

操作例

午後 2 時 05 分にセットする

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

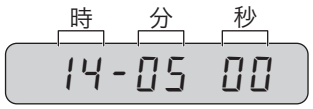
2 設定する時刻（時、分）を入力して、[×/日時] を押します。
キーを押すと同時に時刻が設定され、秒を刻みはじめます。

[1][4][0][5][×/日時]

3 設定されたら [AC C] を押します。

[AC C]

表示例





⚠注意
- **時刻は 24 時間制で入力します。（00 ～ 23）**
- **時と分は必ず 2 桁ずつ入力します。（0 ～ 9 → 00 ～ 09）**

日付を設定する

電池を交換したときは、日付を確認してください。

操作例

2016 年 10 月 6 日にセットする

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

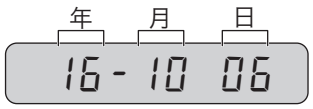
2 設定する日付（年、月、日）を入力して、[×/日時] を押します。

[1][6][1][0][0][6][×/日時]

3 設定されたら [AC C] を押します。

[AC C]

表示例





⚠注意
- **年は西暦年の下 2 桁を入力します。（2016 → 16）**
- **月と日は必ず 2 桁ずつ入力します。（1 ～ 9 → 01 ～ 09）**

単価・割引き率の設定

モードスイッチの位置
設定

ここでは、各キーに割り当てることができる単価、割引き率、丸め金額について説明します。

商品単価を部門キーに設定する

部門キーに商品単価を設定することができます。

操作例

部門キーに以下の表の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門 3	¥800
部門 4	¥500

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 単価を入力して、設定したい部門キーを押します。

8 0 0 × 3
5 0 0 ÷ 4

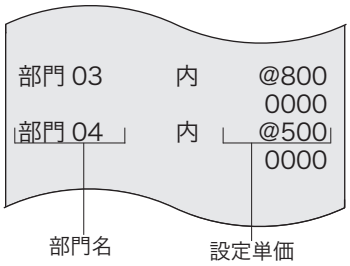
3 設定が終了したら、小計 を押します。

小計

ポイント　単価は最大６桁（999,999 円）まで設定できます。

単価設定した場合の登録の操作例は、**35** ページを参照してください。

印字例



割引き率を % に設定する

% に割引き率を設定できます。

操作例

割引き率を以下のように設定する

設定キー	割引き率
%	5%

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定したい割引き率を入力して、% を押します。

5 %

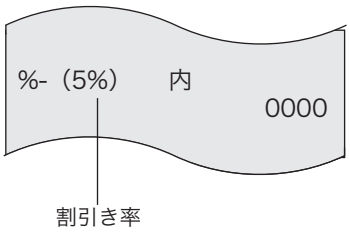
3 設定が終了したら、小計 を押します。

小計

ポイント　率は 0.01%～ 99.99%まで設定できます。小数点の位置では • を押します。

割引き率を設定した場合の登録の操作例は、**37** ページを参照してください。

印字例



丸めの設定

モードスイッチの位置
設定

5円丸め／10円丸めを設定する

[ー] に５円丸めまたは１０円丸めを設定できます。

操作例

「10 円丸め」を設定する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

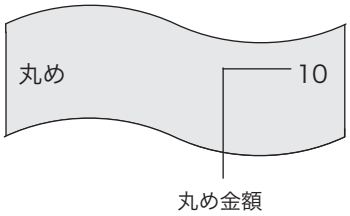
2 設定したい丸めの数字を入力して、[ー] を押します。

[1] [0] [ー]

3 設定が終了したら、[小計] を押します。

[小計]

印字例



ポイント **・丸め金額を“10”にすると「10 円丸め」になり、“5”を入れると「5円丸め」になります。**
・丸め金額を“0”にすると丸めは行なわれません。ご購入時は“0”になっています。

５円丸め／ 10 円丸めの操作例は、**36** ページを参照してください。

課税方式（内税／外税／複数税率／非課税）の設定

モードスイッチの位置
設定

ここでは、各キーを内税、外税、複数税率、非課税に設定する方法を説明します。

内税／非課税／複数税率／外税を混在して設定する

取り扱い商品に「内税」「非課税」「複数税率」「外税」が混在しているお店は、各キーにそれぞれ「内税」「非課税」「複数税率」「外税」を設定します。事前に部門キー、値引きキー、割引きキーに、「内税」「非課税」「複数税率」「外税」のどれを設定するか決めてください。

操作例

課税方式（指定キー）	設定するキー
非課税の設定（#/替）	÷ 4、—
税１外税の設定（出金）	× 3
税２内税の設定（券）	+ 1、– 2

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 1 小計 を押します。

1 小計

非課税の設定

3 #/替 を押して、非課税に設定するキーを押します。

#/替 ÷ 4 —

税１外税の設定

4 出金 を押して、税１外税に設定するキーを押します。

出金 × 3

税２内税の設定

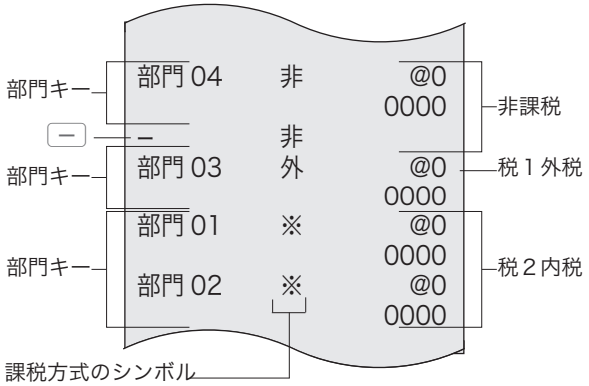
5 券 を押して、税２内税に設定するキーを押します。

券 + 1 – 2

6 小計 を押して設定を終了します。

小計

印字例



ポイント

通常の設定では「税１」のみ使用します。複数税率に対応するときは、「税１」と「税２」の両方を設定してください。

- **税１内税を設定するには、手順 *5* の 券 の代わりに 入金 を押します。**
- **税２外税を設定するには、手順 *4* の 出金 の代わりに 訂正 を押します。**

		設定時に押すキー
税１	内税	入金
	外税	出金
税２	内税	券
	外税	訂正

課税方式（内税／外税／複数税率／非課税）の設定

モードスイッチの位置
設定

課税方式の一括設定

すべての商品の課税方式を一括で変更します。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 3 0 0 小計

3 設定する課税方式の番号を押します。
税１内税を設定するときは…0
税１外税を設定するときは…1
税２内税を設定するときは…2
税２外税を設定するときは…3

4 現/預 を押して設定を終了します。

現/預

ポイント 各キー（「部門 01 + 1」～「部門 04 ÷ 4」、%、－）の課税設定を一括して変更します。

すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター）

すべての商品を非課税扱いにする設定をします。この設定をしたレジスターを「非課税レジスター」といいます。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 3 小計 を押します。

3 小計

3 9 9 9 9 小計 を押して設定を終了します。

9 9 9 9 小計

ポイント
・非課税レジスターを解除するときは、9999 を 8888 にしてください。
・各キーの課税設定は、8888 入力で元の課税設定に戻ります。

注意
・「非課税レジスター」に設定されているときは、キーに個別設定をしても非課税として処理されます。非課税以外で使用するときは、「非課税レジスター」を解除してください。
・非課税レジスターのとき、下記のシンボルや項目は印字しません。課税シンボル（内、外、非）／「登録」「戻」での課税対象額、税額／「点検」「精算」での税率、課税対象額、税額、非課税額合計／「設定」（設定点検）での税関連の設定内容

消費税率の設定

モードスイッチの位置



ご購入時、税率は一律８％に設定されています。

将来の複数税率に対応するため、「税１」と「税２」の２種類の税率を設定できます。（通常の設定では「税１」のみ使用します。）

現在の税率を確認する

「レジスターの設定内容を確認する」（75 ページ）を参照してください。

すぐに税率を変更する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 2 0 0 小計

3 「税１」の税率（A）を入力して、現/預 を押します。
（Aを入力せずに 現/預 だけを押すと、既存の設定のままです。）

A 現/預

4 「税２」の税率（B）を入力して、現/預 を押します。
（「税２」を変更しないときは、小計 を押します。）

B 現/預

税１	内税	税率（A）
	外税	
税２	内税	税率（B）
	外税	

「税１内税」と「税１外税」を 10%にしたいときは、手順 ***3*** の A 現/預 を 1 0 現/預 と入力します。
「税２内税」と「税２外税」を８％にしたいときは、手順 ***4*** の B 現/預 を 8 現/預 と入力します。

消費税率の設定

モードスイッチの位置



税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前０時以降モードスイッチをいったん OFF にすると、設定された税率に変更します。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 1 0 0 小計

3 改定年月日を入力して 現/預 を押します。
YY には西暦下２桁、MMには月（01 ～ 12)、DD には日（01 ～ 31）の、必ず各２桁・合わせて６桁の数字を入力してください。
（年月日を入力せずに 現/預 だけを押すと、既存の設定のままです。）

YYMMDD 現/預

4 「税１」の税率（A）を入力して 現/預 を押します。
（Aを入力せずに 現/預 だけを押すと、既存の設定のままです。）

A 現/預

5 「税２」の税率（B）を入力して 現/預 を押します。
（「税２」を変更しないときは、小計 を押します。）

B 現/預

⚠注意 **変更日になっても税率が変更されないときは、レジスターの電源を一度 OFF にして再度 ON にしてください。**

税率改定の予約機能を無効にする

上記「税率改定の予約機能を設定する」で設定した内容を無効にします。

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 1 0 0 小計

3 改定年月日をクリア（0）して 現/預 を押します。

0 現/預

消費税率の設定

モードスイッチの位置
設定

複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率（食料品の税率を小さくするなど）」２種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「税１」と「税２」の２種類の税率を設定できます。（通常の設定では「税１」のみ使用します。）

「税１」の外税ははじめに 出金、内税は 入金 を押したあと、該当する部門とキーを設定します。
「税２」の外税ははじめに 訂正、内税は 券 を押したあと、該当する部門とキーを設定します。

設定の詳細は、「課税方式（内税／外税／複数税率／非課税）の設定」（49 ページ）を参照してください。

		設定時に押すキー
税１	内税	入金
	外税	出金
税２	内税	券
	外税	訂正

課税方式の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の課税方式を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門３を「税１内税」から「税２内税」、部門４を「税１内税」から「税２外税」に変更するよう予約する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 7 0 0 小計

3 設定する課税方式のキー 券 を押して、部門３キー × 3 を押します。

券 × 3

設定する課税方式のキー 訂正 を押して、部門４キー ÷ 4 を押します。

訂正 ÷ 4

4 小計 を押して設定を終了します。

小計

		設定時に押すキー
税１	内税	入金
	外税	出金
税２	内税	券
	外税	訂正

ポイント **実行するときは「税予約項目の設定」（55 ページ）で課税方式の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。**

消費税率の設定

モードスイッチの位置



単価の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の単価を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門に下記の単価の予約を設定する

部門	単価
部門2	810

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 8 0 0 小計

3 設定する単価を入力して、部門2 －2 を押します。

8 1 0 －2

4 小計 を押して設定を終了します。

小計

ポイント **実行するときは「税予約項目の設定」（55 ページ）で単価の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。**

消費税率の設定

モードスイッチの位置



税予約項目の設定

設定した税予約機能を実行する設定をします。単価と課税方式の予約を有効にするには、ここで設定を変更します。

操作例

税率改定の予約と課税方式の予約を実行する設定をする

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 9 0 0 小計

3 2 を入力して 現/預 を押します。

2 現/預

番号	税率改定の予約	単価の予約	課税方式の予約
0	変更する	変更しない	変更しない
1	変更する	変更する	変更しない
2	変更する	変更しない	変更する
3	変更する	変更する	変更する

が、ご購入時の設定です。

ポイント 税率改定の予約機能、課税方式の予約機能、単価の予約機能とセットで設定してください。

税シンボルの設定

モードスイッチの位置
設定

税 1 内税シンボル「内」・税 1 外税シンボル「外」を印字する

お買い上げの状態では「税 1 内税シンボルを印字しない」「税 1 外税シンボルを印字する」に設定されています。これを「税 1 内税シンボルを印字する」に設定します。

操作例

「税 1 内税シンボルを印字する」と設定する

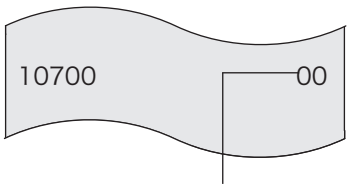
手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
2 設定コードを入力して 小計 を押します。
　1 0 7 0 0 小計
3 0 0 を入力して 現/預 を押します。
　0 0 現/預

番号	税 1 内税シンボルを	税 1 外税シンボルを
0 0	印字する	印字する
0 1	印字する	印字しない
1 0	印字しない	印字する
1 1	印字しない	印字しない

が、ご購入時の設定です。

印字例



⚠注意　ここで設定できるのは税 1 のシンボルのみです。税 2 の設定は、「消費税関連の印字／非印字を設定」（68 ページ）を参照してください。

非課税シンボル「非」を印字しない

お買い上げの状態では、非課税対象商品登録時は非課税シンボル「非」を印字、非課税合計を印字（非課税合計が 0 でなければ）に設定されています。これを「非課税シンボルを印字しない」、「非課税合計を印字しない」に設定します。

操作例

「非課税シンボルを印字しない」、「非課税合計を印字しない」と設定する

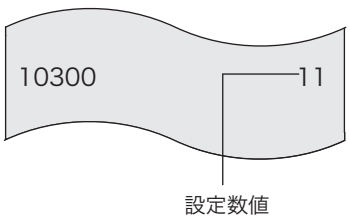
手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
2 設定コードを入力して 小計 を押します。
　1 0 3 0 0 小計
3 1 1 を入力して 現/預 を押します。
　1 1 現/預

番号	非課税シンボルを	非課税合計を
0 0	印字する	印字する
0 1	印字する	印字しない
1 0	印字しない	印字する
1 1	印字しない	印字しない

が、ご購入時の設定です。

印字例



レシートへの切り替え・印字の設定

モードスイッチの位置
設定

レシート／ジャーナルを切り替える

お買い上げの状態では「ジャーナル」に設定されています。これを「レシート」に設定します。

操作例

「レシートとして使用する」と設定する

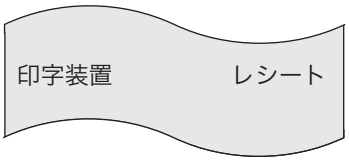
手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 1 と 券 を押します。

1 券

印字例



ポイント
- **「ジャーナル」にするときは、1 券 を 0 券 にしてください。**
- **「レシート２枚」（控えレシート）にするときは、1 券 を 3 券 にしてください。**
- **「レシート２枚」の設定では、１枚目のレシート印字後にそのレシートを切り、続けて 現/預 を押すと２枚目のレシートが印字されます。**

「レシート」に変更した場合は、ロールペーパーの取り付け方法も変更してください（78 ページ）。

レシート（ジャーナル）上の時刻を印字しない

お買い上げの状態では、レシート（ジャーナル）上の時刻を印字するに設定されています。これを「時刻印字しない」に設定します。

操作例

「時刻印字しない」と設定する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

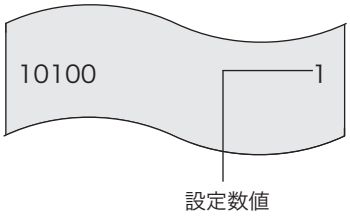
2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 0 1 0 0 小計

3 1 と 現/預 を押します。

1 現/預

印字例



ポイント **「時刻印字する」にするときは、1 現/預 を 0 現/預 にしてください。**

商品名の設定

モードスイッチの位置
設定

部門キーに商品分類名を設定する

部門キーに設定されている「部門 01」～「部門 04」の名称を商品分類名に設定できます。商品分類名は下記の商品分類名一覧から選択して設定します。

操作例

部門 01 [+ 1] に「食料品」、部門 02 [- 2] に「野菜」、部門 03 [× 3] に「菜子」を設定する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 **2** [小計] を押します。
2 [小計]

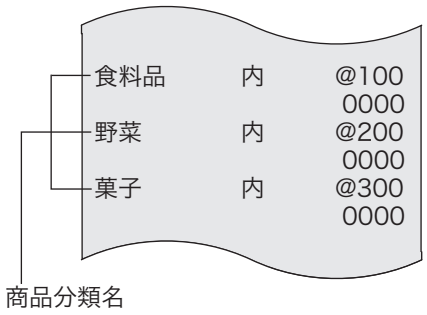
3 **0 1**（食料品）を入力して [+ 1] を押します。
0 1 [+ 1]

4 **0 5**（野菜）を入力して [- 2] を押します。
0 5 [- 2]

5 **0 9**（菓子）を入力して [× 3] を押します。
0 9 [× 3]

2 [小計] を押して設定を終了します。
[小計]

印字例



ポイント 部門 01、部門 02 などの元の部門名に戻すときは、0 0 を入力してください。

商品分類名一覧

コード	商品分類名	コード	商品分類名	コード	商品分類名	コード	商品分類名
01	食料品	11	テイクアウト	21	家庭用機器	31	レジャー
02	生鮮	12	喫茶	22	日用品	32	教育
03	精肉	13	飲料	23	サービス料	33	外食
04	鮮魚	14	アルコール	24	雑貨	34	宿泊
05	野菜	15	たばこ	25	医薬品	35	その他
06	果物	16	衣料品	26	医療費	36	保険等
07	パン	17	履物	27	交通	37	装飾品
08	弁当	18	住居	28	通信	38	化粧品
09	菓子	19	ライフライン	29	娯楽・文化	39	理容・美容
10	お食事	20	家具	30	書籍	40	お花

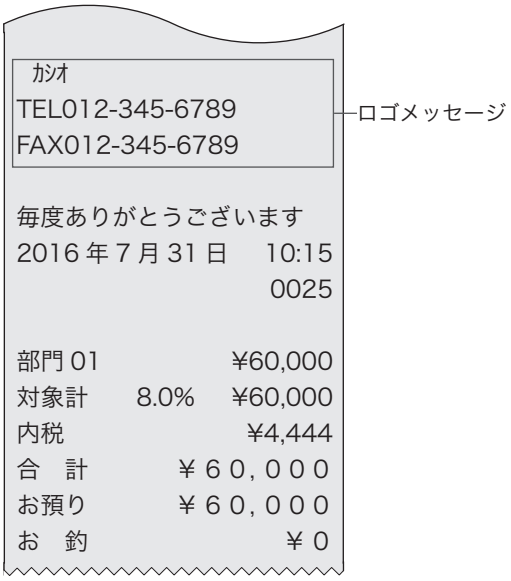
ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置
設定

レシートの頭にロゴメッセージを設定する

印字できる文字について

本機はレシート頭のロゴメッセージ部分に、任意の文字を印字することができます。印字できる文字は、「半角カタカナ」「半角英字」「数字」と一部の記号です。最大で一行 24 文字、5 行の文字が印字できます。（ひらがなや漢字は印字できません。「半角文字コード表」の文字のみです。）



文字入力の方法

印字したい文字を 1 文字ずつ設定します。「半角文字コード表」を参照して 3 桁の数値と • を入力してください。

- 空白（スペース）は「半角文字コード（0 3 2）」と • を入力します。その行の後半がすべて空白（スペース）の場合は省略できます。
- 1 文字を取り消す場合は、数値を入力していない状態で • を入力します。
- 横倍文字にする場合は、文字コード入力前に 1 文字ごとに ×/日時 を入力します。

操作例

『__ カシオ』（説明のため __ は空白（スペース）を示しています）を 1 行目に設定する

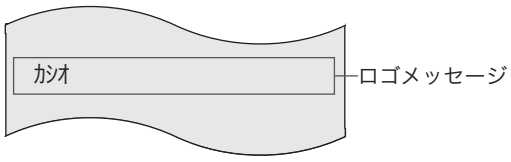
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 小計　1 券
ロゴメッセージ 1 行目指定

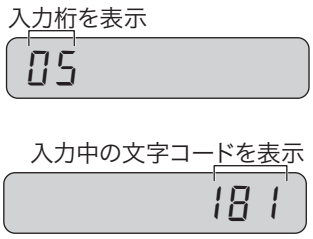
0 3 2 • 0 3 2 • 1 8 2 • 1 8 8 • 1 8 1 • 現/預

空白　空白　カ　シ　オ　1 行目入力終了

印字例



表示例（5 桁目入力時）



ご購入時の設定から、任意のロゴメッセージをレシートの頭に印字するには、以下 3 点の設定変更が必要です。

- ロゴメッセージ（レシート頭）を設定する（62 ページ）
- レシート／ジャーナルを切り替える（57 ページ）
- レシートの頭にロゴメッセージを印字する（65 ページ）

62、63 ページのロゴメッセージ入力表と半角文字コード表を使って、ロゴメッセージの文字を設定してください。ご購入時の設定は空白です。

ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置



設定例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1行目	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	ｶ	ｼ	ｵ	(空白)	ｼ
文字コード→	032	032	032	032	032	032	032	182	188	181	032	188
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	ｮ	ｳ	ﾃ	ﾝ								
文字コード→	174	179	195	221								

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2行目	T	E	L	:	0	1	2	−	3	4	5	−
文字コード→	084	069	076	058	000	001	002	045	003	004	005	045
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	6	7	8	9								
文字コード→	006	007	008	009								

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3行目	F	A	X	:	0	1	2	−	3	4	5	−
文字コード→	070	065	088	058	000	001	002	045	003	004	005	045
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	6	7	8	9								
文字コード→	006	007	008	009								

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4行目												
文字コード→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→												

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5行目												
文字コード→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→												

操作例

上記設定例のロゴメッセージを設定する

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 小計　1 券

ロゴメッセージ1行目指定

032・　032・　032・　032・　032・　032・　032・

空白　空白　空白　空白　空白　空白　空白

182・　188・　181・　032・　188・　174・　179・　195・　221・

ｶ　ｼ　ｵ　空白　ｼ　ｮ　ｳ　ﾃ　ﾝ

現/預

1行目入力終了

ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置
設定

2 小計　2 券
ロゴメッセージ２行目指定

084•	069•	076•	058•	000•	001•	002•	045•
T	E	L	:	0	1	2	−

003•	004•	005•	045•	006•	007•	008•	009•
3	4	5	−	6	7	8	9

現/預

２行目入力終了

2 小計　3 券
ロゴメッセージ３行目指定

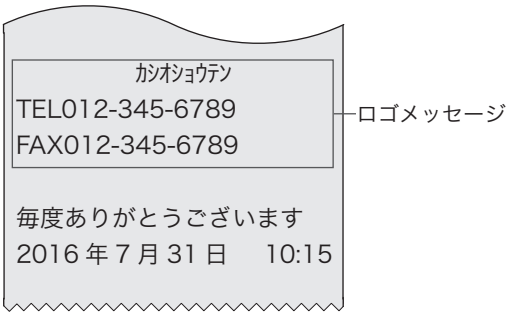
070•	065•	088•	058•	000•	001•	002•	045•
F	A	X	:	0	1	2	−

003•	004•	005•	045•	006•	007•	008•	009•
3	4	5	−	6	7	8	9

現/預

３行目入力終了

印字例



※ この設定例はロゴメッセージの４行目と５行目を使用しない例です。１～３行目と同様に４行目と５行目を設定すると印字は可能です。

ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置



下記のロゴメッセージ入力表に印字したい文字と文字コードを記入し、見ながら設定すると便利です。

①1行目～5行目に、印字したい文字を一行 24 文字以内で記入します。

②文字コード欄に、該当する文字の文字コードを次ページの半角文字コード表から記入します。実際の操作時は文字コードのあとに ● を入力します。

ロゴメッセージ入力表



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1行目 ①												
②文字コードA→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
①												
②文字コードA→												

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2行目 ①												
②文字コードB→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
①												
②文字コードB→												

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3行目 ①												
②文字コードC→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
①												
②文字コードC→												

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4行目 ①												
②文字コードD→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
①												
②文字コードD→												

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5行目 ①												
②文字コードE→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
①												
②文字コードE→												

ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置
設定

半角文字コード表

文字コード	文字	文字コード	文字	文字コード	文字	文字コード	文字	文字コード	文字
000	0	064	@	096	`	162	「	194	ｯ
001	1	065	A	097	a	163	」	195	ﾃ
002	2	066	B	098	b	164	、	196	ﾄ
003	3	067	C	099	c	165	・	197	ﾅ
004	4	068	D	100	d	166	ｦ	198	ﾆ
005	5	069	E	101	e	167	ｧ	199	ﾇ
006	6	070	F	102	f	168	ｨ	200	ﾈ
007	7	071	G	103	g	169	ｩ	201	ﾉ
008	8	072	H	104	h	170	ｪ	202	ﾊ
009	9	073	I	105	i	171	ｫ	203	ﾋ
032	空白	074	J	106	j	172	ｬ	204	ﾌ
033	!	075	K	107	k	173	ｭ	205	ﾍ
034	"	076	L	108	l	174	ｮ	206	ﾎ
035	#	077	M	109	m	175	ｯ	207	ﾏ
036	$	078	N	110	n	176	ｰ	208	ﾐ
037	%	079	O	111	o	177	ｱ	209	ﾑ
038	&	080	P	112	p	178	ｲ	210	ﾒ
039	'	081	Q	113	q	179	ｳ	211	ﾓ
040	(	082	R	114	r	180	ｴ	212	ﾔ
041	)	083	S	115	s	181	ｵ	213	ﾕ
042	*	084	T	116	t	182	ｶ	214	ﾖ
043	+	085	U	117	u	183	ｷ	215	ﾗ
044	,	086	V	118	v	184	ｸ	216	ﾘ
045	-	087	W	119	w	185	ｹ	217	ﾙ
046	.	088	X	120	x	186	ｺ	218	ﾚ
047	/	089	Y	121	y	187	ｻ	219	ﾛ
058	:	090	Z	122	z	188	ｼ	220	ﾜ
059	;	091	[	123	{	189	ｽ	221	ﾝ
060	<	092	\	124	|	190	ｾ	222	ﾞ
061	=	093	]	125	}	191	ｿ	223	ﾟ
062	>	094	^	126	~	192	ﾀ		
063	?	095	_	161	。	193	ﾁ		

操作例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 小計　1 券
ロゴメッセージ１行目指定
記入した文字コード A と • を入力します
□□□ • □□□ • □□□ • … □□□ • → 現/預
１文字目　２文字目　３文字目　後半の空白は省略できます　24 文字目（最大）　１行目入力終了

2 小計　2 券
ロゴメッセージ２行目指定
記入した文字コード B と • を入力します
□□□ • □□□ • □□□ • … □□□ • → 現/預
１文字目　２文字目　３文字目　後半の空白は省略できます　24 文字目（最大）　２行目入力終了

ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置



2 小計　3 券

ロゴメッセージ３行目指定

記入した文字コード C と • を入力します

□□□ • □□□ • □□□ • … □□□ • → 現/預

1 文字目　2 文字目　3 文字目　後半の空白は省略できます　24 文字目(最大)　３行目入力終了

2 小計　4 券

ロゴメッセージ４行目指定

記入した文字コード D と • を入力します

□□□ • □□□ • □□□ • … □□□ • → 現/預

1 文字目　2 文字目　3 文字目　後半の空白は省略できます　24 文字目(最大)　４行目入力終了

2 小計　5 券

ロゴメッセージ５行目指定

記入した文字コード E と • を入力します

□□□ • □□□ • □□□ • … □□□ • → 現/預

1 文字目　2 文字目　3 文字目　後半の空白は省略できます　24 文字目(最大)　５行目入力終了

ロゴメッセージの設定

モードスイッチの位置
設定

レシートの頭にロゴメッセージを印字する

レシートの頭の部分に「御計算書」、「控え」や「明細」などのロゴメッセージを印字できます。お買い上げの状態ではロゴメッセージは印字されず、その部分は空白になります。

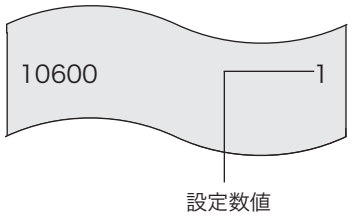
操作例

設定したロゴメッセージを印字する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
2 設定コードを入力して 小計 を押します。
　1 0 6 0 0 小計
3 8 と 現/預 を押します。
　8 現/預

印字例



ロゴメッセージサンプル



ポイント
- 「レシートの頭にロゴメッセージを設定する」（59 ページ）で任意の文字を設定できます。
- 「ロゴメッセージを印字しない（５行分紙送りします）」にする場合は“０”を入力してください。
- この設定は印字が「レシートとして使用する」となっている場合にのみ有効です。「ジャーナル」として使用されている場合、この設定をしても何も変わりません。

レシートメッセージを印字しない

お買い上げの状態では、レシートメッセージ「毎度ありがとうございます」を印字するに設定されています。これを印字しないに設定します。

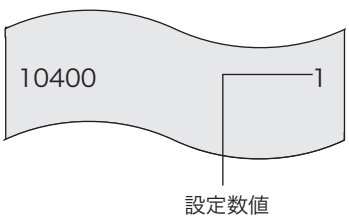
操作例

「毎度ありがとうございます」と印字しないように設定する

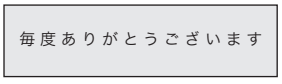
手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
2 設定コードを入力して 小計 を押します。
　1 0 4 0 0 小計
3 1 と 現/預 を押します。
　1 現/預

印字例



レシートメッセージサンプル



ポイント
- 「レシートメッセージを印字する」にするときは、1 現/預 を 0 現/預 にしてください。
- この設定は印字が「レシートとして使用する」となっている場合にのみ有効です。「ジャーナル」として使用されている場合、この設定をしても何も変わりません。

事業者登録番号の設定

モードスイッチの位置



適格請求書等保存方式で、課税事業者の登録番号を印字する際に使用します。最大 16 桁設定できます。適格請求書等保存方式の具体的な内容は、財務省など政府のご案内を参照してください。

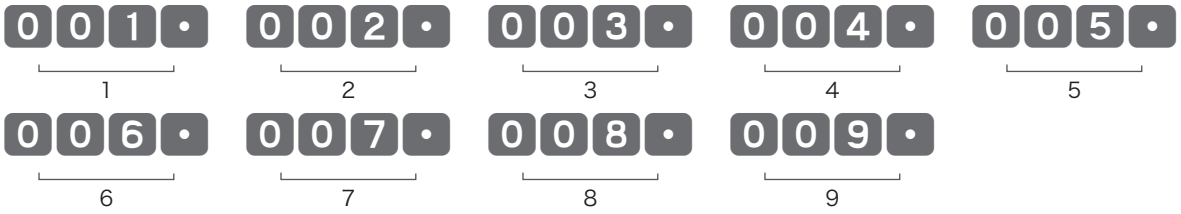
手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して [#/替] を押します。

[2] [小計] [#/替]

3 事業者登録番号を入力します。



4 [現/預] を押します。

[現/預]

ポイント **「ジャーナル レシートの切り替えと印字制御を設定する」（69 ページ）で、事業者登録番号を印字するに設定してください。**

その他の設定

モードスイッチの位置
設定

ここでは、本機をより便利に使いこなすための設定方法について説明します。
ご利用するお店のニーズに合わせて、必要に応じて設定してください。
手順に記載している数字キーの見方は以下のとおりです。

例：……0 1 0 1……

＜内税の端数処理＞
0：円未満 四捨五入（ご購入時の設定）
1：円未満 切捨て
2：円未満 切上げ

上記の例では、0 を押しているので、内税の端数を「円未満 四捨五入」にすることを意味しています。
仮に、内税の端数を「円未満 切り捨て」にする場合は、1 を押す必要があります。

消費税額の円未満の端数処理を設定する

操作例

消費税額の円未満の端数を、「切捨て」にする

手順



＜税 1 ／内税の端数処理＞
0：円未満 四捨五入（ご購入時の設定）
1：円未満 切捨て
2：円未満 切上げ

＜税 1 ／外税の端数処理＞
0：円未満 四捨五入
1：円未満 切捨て（ご購入時の設定）
2：円未満 切上げ

＜税 2 ／外税の端数処理＞
0：円未満 四捨五入
1：円未満 切捨て（ご購入時の設定）
2：円未満 切上げ

＜税 2 ／内税の端数処理＞
0：円未満 四捨五入（ご購入時の設定）
1：円未満 切捨て
2：円未満 切上げ

その他の設定

消費税関連の印字／非印字を設定する

操作例

消費税関連の印字を、以下のように設定する
・税率を「印字しない」
・内税対象額と内税額を「印字しない」
・非課税合計を「印字しない」
・消費税のシンボル（内、外、非）は、いずれも「印字する」

手順

3 小計 3 2 6 小計 1 7 0 0 現/預 小計

■税２外の「※」シンボル	■「非」シンボル	番号
印字する	印字する	0
印字する	印字しない	4
印字しない	印字する	1
印字しない	印字しない	5

通常の設定では「税１」のみ使用します。将来の複数税率に対応するため、「税１」と「税２」の２種類の税率を設定できます。複数税率については、「複数税率への対応」（53ページ）を参照してください。

■税１の「内」シンボル	■税１の「外」シンボル	■税２内の「※」シンボル	番号
印字する	印字する	印字する	0
印字する	印字する	印字しない	4
印字する	印字しない	印字する	2
印字する	印字しない	印字しない	6
印字しない	印字する	印字する	1
印字しない	印字する	印字しない	5
印字しない	印字しない	印字する	3
印字しない	印字しない	印字しない	7

＜税率、課税対象額、税額の印字／非印字＞

番号	税率印字	内税対象額印字	内税額印字
0	する	する	する
1	する	しない	する
4	しない	する	する
5	しない	しない	する
7	しない	しない	しない

番号	軽減税率メッセージ	非課税合計の印字／非印字
0	印字する	非課税合計を印字する
1	印字する	非課税合計を印字しない
4	印字しない	非課税合計を印字する
5	印字しない	非課税合計を印字しない

・上記の表に従って、税率・課税対象額・税額の印字／非印字を設定します。
・　がご購入時の設定です。

ポイント **税関連の項目を、シンボルも含めてすべて「印字する」場合は 0 0 0 0 と押します。**

その他の設定

ジャーナル／レシートの切り替えと印字制御を設定する

操作例

以下のように設定する
・「レシート」にする
・時刻と一連番号を印字しない

手順

3 小計 5 2 2 小計 1 0 4 1 現/預 小計

＜レシート／ジャーナルほか＞

番号	印字は？	レシートメッセージを
0	ジャーナル	----
1	レシート	印字する
5	レシート	印字しない
3	レシート２枚（控え）	印字する
7	レシート２枚（控え）	印字しない

＜レシートのロゴの内容＞

番号	レシートのロゴの内容
0	（印字しない）
1	御計算書
2	控え
3	明細
8	ロゴメッセージ

＜一連番号の印字／非印字ほか＞

番号	一連番号	小計 キー	ジャーナルスキップ
0	印字する	印字しない	しない
1	印字しない	印字しない	しない
2	印字する	印字する	しない
3	印字しない	印字する	しない
4	印字する	印字しない	する
5	印字しない	印字しない	する
6	印字する	印字する	する
7	印字しない	印字しない	する

＜時刻の印字／非印字ほか＞

番号	時刻	事業者登録番号	ジャーナル
0	印字する	印字しない	通常印字
1	印字する	印字しない	圧縮印字
2	印字する	印字する	通常印字
3	印字する	印字する	圧縮印字
4	印字しない	印字しない	通常印字
5	印字しない	印字しない	圧縮印字
6	印字しない	印字する	通常印字
7	印字しない	印字する	圧縮印字

・「レシート」に変更した場合は、ロールペーパーの取り付け方法も変更してください（78 ページ）。
・レシートメッセージは、「毎度ありがとうございます」です。
・　がご購入時の設定です。

ポイント **ロゴメッセージは、レシートとして使用されている場合のみ使用できます。ジャーナルでは使用できません。**

その他の設定

一連番号／単品値引きなどを設定する

操作例

日計精算しても、前のレシートから引き続いた一連番号を印字する

手順

3 小計 6 2 2 小計 2 0 0 現/預 小計

00 の仕様の選択、単品値引き		
番号	00 を	単品値引き
0	00 として使用する	単品値引き不可
1	スリーゼロとして使用する	単品値引き不可
4	00 として使用する	単品値引き可
5	スリーゼロとして使用する	単品値引き可

日計明細の精算後の一連番号、ほか			
番号	レシート発行中にキー操作を	日計明細精算後の一連番号	マイナスの合計を
0	受け付ける	1 から始める	許さない
1	受け付けない	1 から始める	許さない
2	受け付ける	前のを引き継ぐ	許さない
3	受け付けない	前のを引き継ぐ	許さない
4	受け付ける	1 から始める	許す
5	受け付けない	1 から始める	許す
6	受け付ける	前のを引き継ぐ	許す
7	受け付けない	前のを引き継ぐ	許す

・ がご購入時の設定です。

ポイント **＜日計明細の精算後の一連番号＞に 0 を設定すると、一連番号が、毎日「0001」からはじまって印字されます。2 を設定すると、精算後も前のレシートから引き続いた一連番号が印字されます。**

点検／精算レポートの印字制御を設定する

操作例

日計点検／精算レポート上の 0 の合計を印字する

手順

3 小計 8 2 2 小計 0 1 現/預 小計

＜戻し合計／在売点検の印字＞

番号	日計明細レポート上に	在売点検でレポートを
0	戻し合計を印字する	印字する
1	戻し合計を印字しない	印字する
4	戻し合計を印字する	印字しない（表示のみ）※
5	戻し合計を印字しない	印字しない（表示のみ）※

＜点検精算レポート／ GT ＞

番号	点検精算レポート	GT
0	0 の合計を印字しない	印字しない
1	0 の合計を印字する	印字しない
2	0 の合計を印字しない	印字する
3	0 の合計を印字する	印字する

・ がご購入時の設定です。
・※はエコモードです。エコモードは、「現時点での売上合計と現金在高を確認する」（41 ページ）を参照してください。

その他の設定

電卓モードの機能を設定する

操作例

電卓モード中は、#/替 と 現/=/預 のどちらを押してもドロアーが開かないようにする

手順

3 小計 1 0 2 2 小計 7 現/=/預 小計

＜電卓モードでの機能＞

番号	現/=/預 キーでドロアを	#/替 キーでドロアを	現/=/預 キー押下回数を
0	開ける	開ける	印字しない
1	開けない	開ける	印字しない
2	開ける	開けない	印字しない
3	開けない	開けない	印字しない
4	開ける	開ける	印字する
5	開けない	開ける	印字する
6	開ける	開けない	印字する
7	開けない	開けない	印字する

・ がご購入時の設定です。

%計算の端数処理を設定する／ % を割増しキーに変更する

操作例

割引き計算の円未満を「切上げ」にする
% を割増しにする

手順

3 小計 2 1 % 小計

＜ % キーの種別＞
- 0 ：割引きにする（ご購入時の設定）
- 1 ： % を割増しにする

＜ % 計算の円未満の端数処理＞
- 0 ：円未満四捨五入（ご購入時の設定）
- 1 ：円未満切捨て
- 2 ：円未満切上げ

割引き計算の詳細については、**37** ページを参照してください。

その他の設定

モードスイッチの位置
設定

部門キーに単品現金売りを設定する

操作例

部門キー [÷ 4] に「単品現金売り」を設定する

手順

3 [小計] 1 8 6 6 [小計] 1 [÷ 4] [小計]

＜単品現金売り＞
0 ：通常の部門キー（ご購入時の設定）
1 ：単品現金売りにする

ポイント **部門キーに「単品現金売り」を設定すると、部門キーを押すだけで 1 件の取引終了にできます。ただし、預かり金の入力や釣銭計算ができなくなります。**

部門キーに入力桁制限を設定する

操作例

部門キー [－ 2] を「３桁以内の登録が可能」に設定する

手順

3 [小計] 1 5 6 6 [小計] 3 [－ 2] [小計]

＜入力桁制限＞
0 ：７桁以内の登録が可能（ご購入時の設定）
1 ～ 6 ：１～６桁以内の登録が可能
8, 9 ：設定単価でのみ登録が可能

ポイント **「入力桁制限」を設定すると、商品単価が 100 円を誤って 10000 円と入力するミスを防ぐことができます。ただし、入力桁制限を超える桁数の登録はできません（上記の例では 1000 円以上は登録ができません）。**

部門キーに負単価を設定する

操作例

部門キー [× 3] を「負単価」に設定する

手順

3 [小計] 0 5 6 6 [小計] 1 [× 3] [小計]

＜正単価／負単価＞
0 ：正単価（ご購入時の設定）
1 ：負単価

ポイント **部門キーに「負単価」を設定すると、その部門の登録をすべて負（マイナス）として扱います。負単価は「ビン返し」などの負登録したい部門キーに設定します。**

故障かなと思ったら

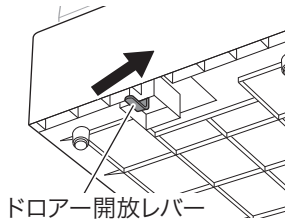
こんなときには

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
ドロアー（引出し）が開かない	硬貨や紙幣がはさまっていませんか？	—
	ドロアー鍵がかかっていませんか？	8
表示窓に表示されない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？	—
	コンセントまでまちがいなく電気が流れていますか？	—
ジャーナル（レシート）が印字されない	紙づまりしていませんか？	—
	エコモードになっていませんか？	70
	モードスイッチが「電卓」になっていませんか？	44
	ロールペーパーは残っていますか？	77
ジャーナルが巻き取られない	ロールペーパーの初めが、ジャーナル巻き取りホルダーにきちんとセットされていますか？ ジャーナル巻き取りホルダーはホルダー受けに確実にセットされていますか？	17
	紙づまりしていませんか？	
印字がうすい、または、印字ムラがある	感熱記録紙（サーマル紙）がセットされていますか？	79
	ロールペーパーが正しくセットされていますか？	
表示窓に”L”が表示される	電池が消耗しています。	76
日付・時刻が消えてしまった	電池をセットしていないか、消耗していませんか？	
表示窓に”E01”が表示される	レジ操作中にモードスイッチの位置を変えていませんか？	74
表示窓に”E10”が表示される	紙押さえが完全には閉じられていません。	14
	用紙が十分にあるか、お確かめください。	
表示窓に”E40”が表示される	控えレシートが発行されていません。現/預 を押して、控えレシートを発行してください。	18
表示窓に”E46”が表示される	レシート２枚（控えレシート）が設定されているときに、37 点以上の登録はできません。一度登録を完了させてください。	18
表示窓に”E86”が表示される	現在の日付よりも古い税改正予約日を入力していませんか？	52

ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー底面のレバー（ドロアー開放レバー）を動かすと開きます。

ポイント **ドロアーロック錠（8 ページ）がかかっていると、ドロアーは開きません。ドロアー鍵でロックを解除してください。**

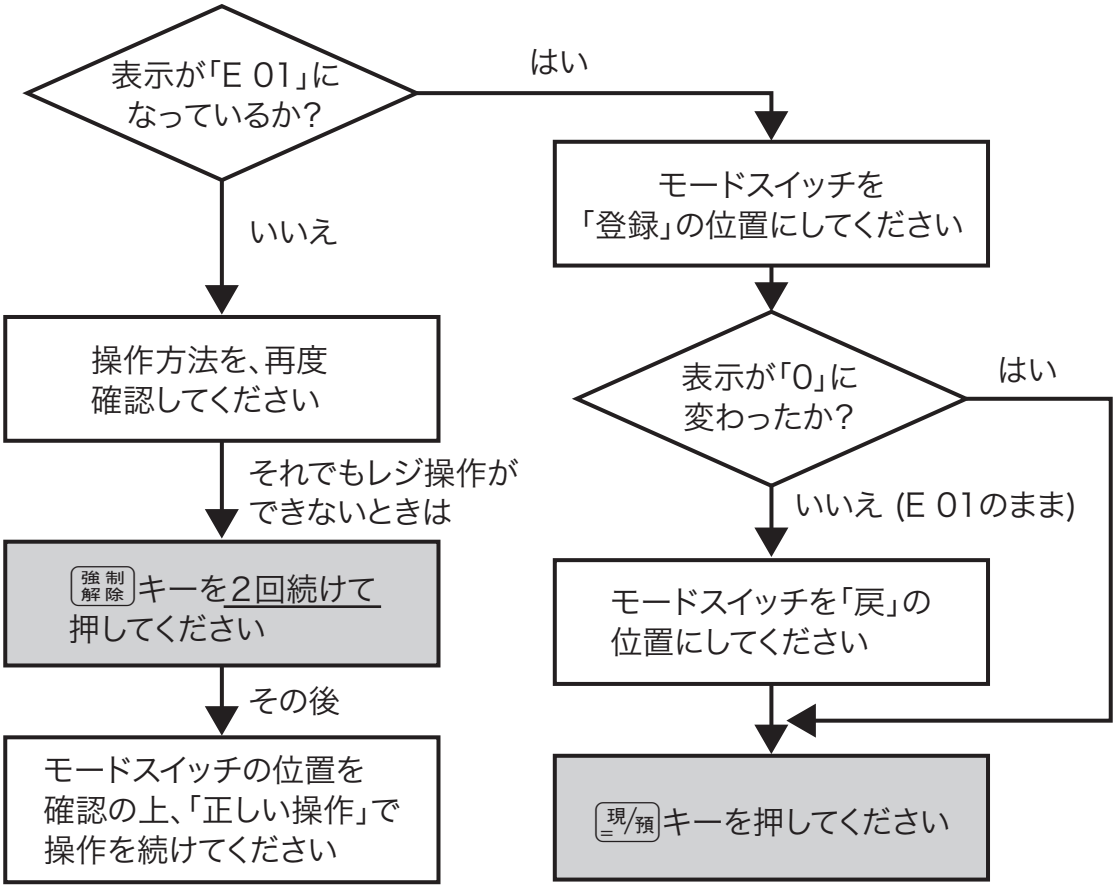


ドロアー開放レバーの形状は実物と異なることがあります。

故障かなと思ったら

正しく動作しないとき

レジ操作中にエラー音が“ピーッ”と鳴ることがあります。これは機械が操作ミスを検出したしるしです。通常はエラーの自動解除機能によってそのまま操作を続けることができます。操作ミスの内容によっては、エラーの自動解除を行っても操作ができなくなることがあります。このようなときは、以下にしたがって対処してください。



⚠注意 **「登録」または「戻」中に、強制解除キーでエラーを解除した場合は、《現金》での売上（戻し）として処理されます。**
これを集計から取り消したいときは、「登録」の場合は「返品処理」を、「戻」の場合は「売上登録」を行ないます。

レジ設定内容の確認

モードスイッチの位置
設定

設定内容を確認する

現在の設定内容をレシート／ジャーナルに印字して確認することができます。

手順

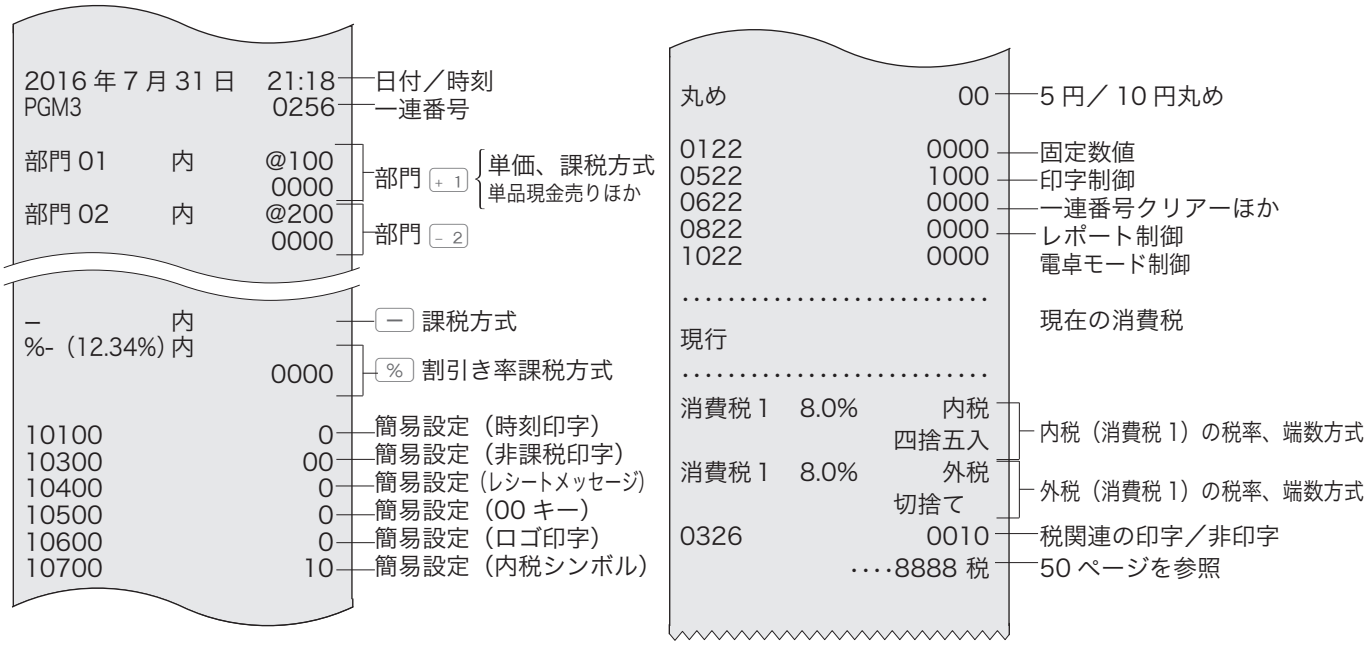
1 モードスイッチを「設定」にします。
このとき、表示窓が“P”または“P3”になっていることを確認します。

2 現/預 を押します。

現/預

レシートまたはジャーナルに現在の設定内容が印字されます。

印字例



ポイント **印字例は「レシート」に設定した場合の例です。「ジャーナル」の場合は、点検シンボルや税関連印字などの上下にある 1 行分の空きスペースがすべてなくなります。**

消耗品の交換

モードスイッチの位置



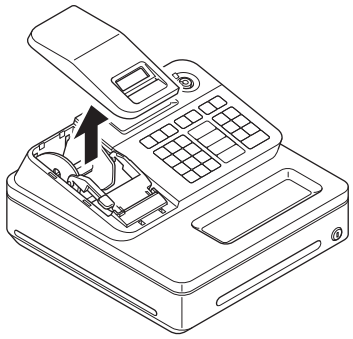
電池を交換する

表示窓の左側に“ L ”が表示された場合は、電池が寿命です。以下の手順で新しい電池と交換してください。

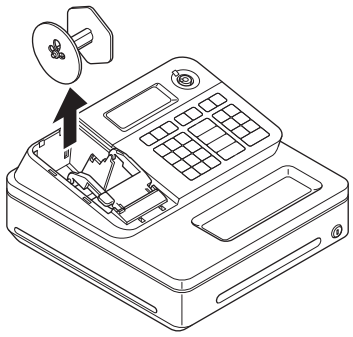
手順

1 モードスイッチの位置を「OFF」にします。

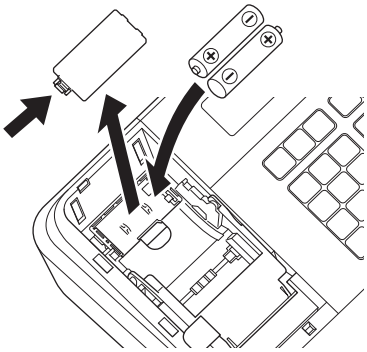
2 プリンターカバーを開けます。



3 ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。



4 電池ボックスのフタを、つまみを押して取り外します。新しい電池の⊕⊖の向きがイラストと同じになるようセットします。



5 電池ボックスのフタを、取り外しと逆の手順で取り付けます。

⚠注意 **・電池交換中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。**
・２本とも新しい単３形アルカリ乾電池に交換してください。

電池についてのご注意

●電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。
●長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。
●使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。
●乾電池には使用推奨期限があります。この期間に注意を払ってお使いください。

消耗品の交換

モードスイッチの位置
登録

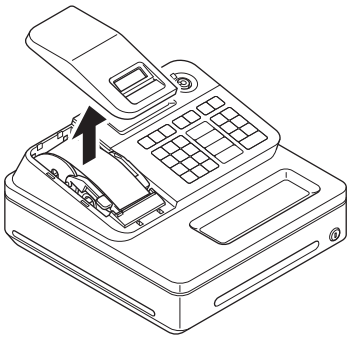
ロールペーパーを交換する（ジャーナル）

ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。ここでは、印字用紙を「ジャーナル（営業記録）」として使う場合のロールペーパーの交換方法を説明します。

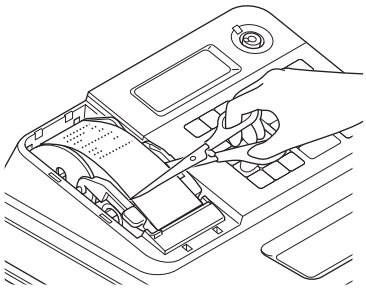
手順

1 モードスイッチの位置を「登録」にします。

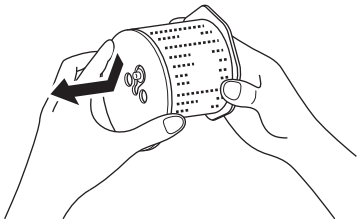
2 プリンターカバーを開けます。



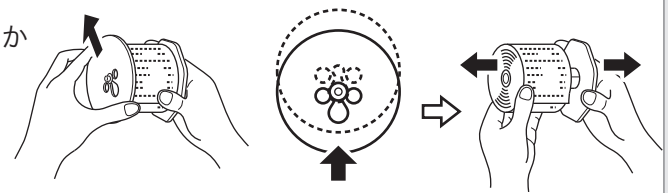
3 紙送り を押してロールペーパーを 20cm 程度空送りして、印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



4 ジャーナル巻き取りホルダーをホルダー受けから取り外し、左側の紙押さえ用側板をイラストの矢印方向にをずらして取り外します。

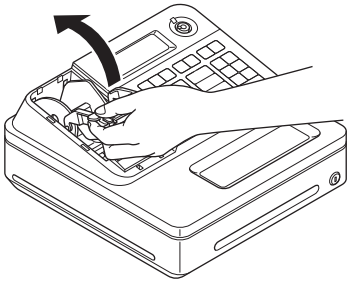


5 印字済みロールペーパーをジャーナル巻き取りホルダーから横方向にずらして外します。
左側の側板をセットして、ホルダーを元に戻します。



ここを矢印の方向に押して
ホルダーの軸押さえを外します。

6 紙押さえを引き上げて、ロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



7 新しいロールペーパーをセットします。
「お使いになる前の準備」手順 7（17 ページ）を参照してください。

消耗品の交換

モードスイッチの位置

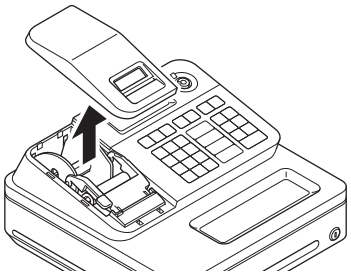


ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。ここでは、印字用紙を「レシート」として使う場合の、ロールペーパーの交換方法を説明します。

手順

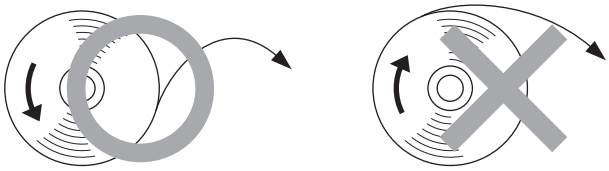
1 プリンターカバーを開けます。

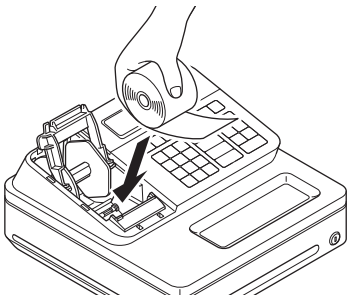


2 紙押さえを引き上げます。

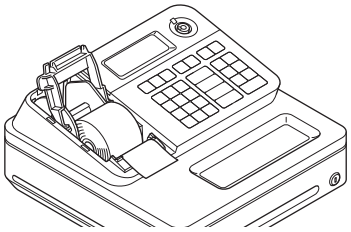


3 ペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除き、ロールペーパーの先端がペーパー入れから出るようにセットします。





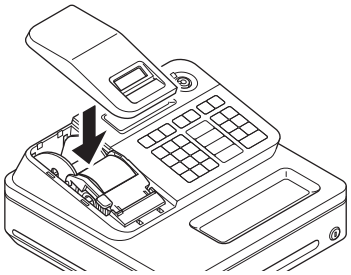
4 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。



5 紙押さえでロールペーパーを挟み込み、カチッと閉じます。紙押さえから出ているペーパーは切り取ってください。



6 余分な紙を切り取り、プリンターカバーを閉じます



仕様

型式	SE-G2
キーボード部	ストローク方式　2キーロールオーバー
表示部	液晶表示仕様　桁数8桁　客用背面表示付き
印字部	感熱記録式プリンター1基搭載、ジャーナル（営業記録）またはレシートの切り替え 印字速度　約 3.5 行／秒 印字桁数　24 桁 記録紙　幅 57 ～ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙（消耗品欄参照）
最大演算桁数	置数・預かり金（8 桁：0 ～ 99,999,999）　登録（7 桁：– 9,999,999 ～ 9,999,999） 合計（8 桁：– 9,999,999 ～ 99,999,999）　リピート（6 桁：– 999,999 ～ 999,999） 番号印字（8 桁：0 ～ 99999999） %レート（整数2桁＋小数2桁：0.01 ～ 99.99%） 税率（整数2桁＋小数4桁：0.0001 ～ 99.9999%） 乗算数量（整数4桁：1 ～ 9999）
電卓機能	加減乗除計算　最大計算桁数は置数8桁　答え8桁（負数のときは7桁）
ドロアー	紙幣3種・硬貨6種　ドロアーロック錠付き、ドロアー／本体一体型
時計・日付機能	月差± 40 秒（通電状態 25℃において）　2099 年までフルオートカレンダー
メモリー保護	単3型アルカリ乾電池×2本使用　記憶保持約1年　1年ごとに交換のこと
電源・消費電力	AC100V ± 10V　50 ／ 60Hz　4W
使用環境温度・湿度	0℃～ 40℃　10%～ 90% RH
外形寸法	幅 326mm　奥行 345mm　高さ 167mm（ドロアー含む）
質量	約 3.5Kg（ドロアー含む）
オプション	防水カバー：WT-92
消耗品	ロールペーパー：紙幅 58mm ×外径 80mm サーマルペーパー（感熱紙） ノーマルタイプ　TRP-5880 × 5（5個入り）　TRP-5880-TW（20 個入り） 高保存タイプ　TRP-5880H × 5（5個入り）　TRP-5880H-TW（20 個入り） 乾電池　：単3形アルカリ乾電池［LR6（AM3）］

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。
ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。
本書およびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。
本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。

保証規定

本書は、SE-G2（以下「本製品」といいます）に関しての保証規定です。

お客様へのお願い

同梱の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

無償保証規定

万一、本製品を正常な使用状態でご使用中に障害が発生し、製品購入日から 1 年間（以下「保証期間」といいます）以内に弊社へご連絡を頂いた場合、弊社は修理、調整または代替品との交換（以下「 修理等 」といいます）を行うことにより、本製品を無償保証いたします。なお、修理等を行った場合であっても、当該本製品（代替品を含みます）は保証期間に限り無償保証いたします。

修理等は、故障の状態等から無償保証の対象であることを確認させて頂いたのち、弊社の裁量においていずれかの対応をいたします。なお、代替品との交換とは同等機種との交換をいい、同一機種との交換を保証するものではありません。

修理等を行った場合は本製品を初期状態にてご返却いたします。本製品に記録されている大切なデータについてはあらかじめジャーナルに印字して保管する等、お客様の責任においてバックアップを取ることをお勧めいたします。

本規定は、日本国内でのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

次の場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、修理等に要した費用をお客様へ別途請求いたします。

・ 誤ったご使用方法、および不当な取り扱いや改造による故障
・ 火災、地震、水害、異常電圧、および盗難などによる損傷や故障
・ 移動および輸送によって生じた故障
・ 上記のほか、正常な使用状態での使用と認められない故障

本規定に基づく弊社の対応・業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。ご活用ください。

あ

一連番号
レシートの番号です。レシートを発行するごとに１ずつ足されます。

オプション
ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。

か

現金在高（げんきんありだか）
ドロアーの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

検銭板
預かり金でのトラブルを避けるため、お客様から預かった紙幣を一時的に置くところです。磁石で検銭板に紙幣を貼り付けることができます。

さ

ジャーナル
印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。ジャーナル用にロールペーパーのセットが必要です。

参照 レシート

ジャーナルスキップ
ジャーナル用紙の消費を少なくするため、商品明細などの印字を省略して印字することです。

乗算
同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。

出金
ドロアーがいっぱいになったときなどに現金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金在高に登録されます。

参照 入金

シンボル
表示の状態を示すインジケーターやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

精算
業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。

参照 点検

設定
レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに覚えさせたりすることです。

参照 単価設定

た

単価設定
商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

置数
数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

訂正
レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）がまちがっていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

点検
業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。

参照 精算

登録
レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

な

日計明細
売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。

入金
商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

参照 出金

値引き
商品や合計金額からある金額を差し引きます。

用語集

は

パーセント計算
割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

参照 割引き・割増し

番号印字
商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

非課税レジスター
消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

参照 課税方式レジスター

部分累計
長い期間（例えば、一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

部門
お店の商品の分類です。例えば、食料品／雑貨品／日用品、鮮魚／精肉／青果、お食事／お飲み物などの分類があります。

返品
お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

ま

丸め（5 円丸め／ 10 円丸め）
合計金額の端数（5 円未満または 10 円未満）が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

や

呼び出し機能
割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

ら

リピート
同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押すことです。

両替
本来の両替（大きなお金を細かくする）ばかりでなく、商品取引以外にドロアーを開ける必要ができたときに両替をします。

レシート
お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。
このレジスターでは、ジャーナル（営業記録）を取る代わりにレシートを発行することができます。

参照 ジャーナル

わ

割引き
全品一律 10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

割増し
時間外割増しなど、ある率で追加料金などが発生するときに使用します。

アフターサービスについて

アフターサービス

お問い合わせは

お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

SE-G2 の消耗品

ロールペーパー：紙幅 58mm ×外径 80mm（感熱記録紙）
ノーマルタイプ　TRP-5880-TW・TRP-5880 × 5
高保存タイプ　TRP-5880H-TW・TRP-5880H × 5
乾電池：単３型アルカリ乾電池［LR6（AM-3)］
使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

お客様相談窓口

●製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
●修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター　**0570-001166**
市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00 ～ PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）
携帯電話・PHS などの場合は 042-503-7215 をご利用ください。

お客様相談窓口

●北海道	札幌	●関東	埼玉	●信越	新潟	●近畿	京都	●四国	高松
●東北	盛岡		千葉		長野		大阪	●九州	福岡
	仙台		東京	●北陸	金沢		神戸		熊本
●関東	宇都宮		多摩	●東海	静岡	●中国	岡山		鹿児島
	水戸		横浜		名古屋		広島		
	高崎								

その他出張所があります。

本製品の使用済後の取り扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。回収申込方法は、カシオホームページ **http://www.casio.co.jp** でご案内しております。

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう ☎（　　）　　担当者

MA1705-B　EX256B*JA2